

97  
18

# 箴言

## 全

文学者同志會蔵

大聖ソロモン著  
日本五名博士共譯  
日本文学社

021624-000-2

97-18

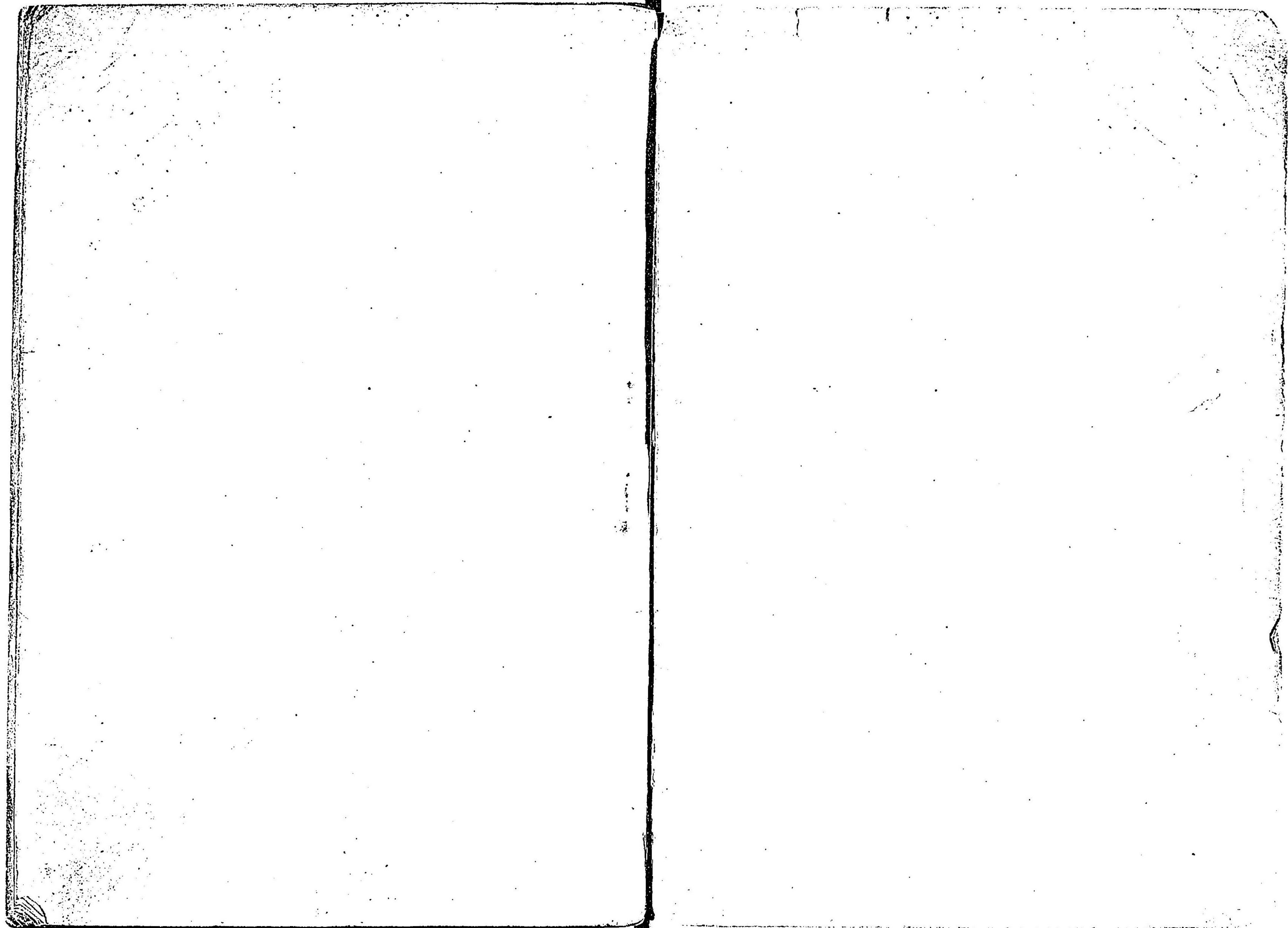
箴言

ソロモン/原著

M36

ABI-1531







箴言

大祖ソロモン原著

第一章ダビデの子イスラエルの王ソロモンの箴言ニ  
 人は智慧と訓誨とをせしめ、拙者にさとりを與へ少者に  
 知識と謹慎とを得させん爲なり。五 智慧ある者は之を聞て學にす、  
 哲者は智慧をうべし。六 人これによりて箴言と譬喩と智慧ある者の言と  
 その隠語とを悟らん。七 エホバを畏るゝは智慧の本なり、  
 愚なる者は智慧と訓誨とを輕んず。八 我が子よ汝の父の教を  
 さけ、汝の母の法を棄るとなかれ。九 これ汝の首の美しき冠となり  
 汝の頂の妝飾とならん。一〇 わが子よ惡者なんぢを誘ふとも  
 従ふことなかれ。十一 彼等なんぢにむかひて、請ふわれらと  
 偕にきたれ。我儕まらぶせして人の血を流し無辜ものを故なきに  
 伏てねらひ。十二 陰府のごとく彼等を活たるまゝにて吞み、  
 壯健なる者を墳に下る者のごとくになさん。十三 われら各様のたふと  
 き財寶をえ、奪ひ取たる物をもて家儕の家に盈さん。十四 汝われら

と借に籤をいけ我儕とともに一の金囊を持べしと云とも我が子よ彼等とともに途を歩むことなかれ、汝の足を禁めてその路にゆくこと勿れ十六そは彼等の足は悪に趨り血を流さんとて急げばなり十七（すべて鳥の眼の前にて羅を張は徒勞なり）十八 彼等はちのれの血のために埋伏し、ちのれの命をふしてねらふ十九 凡て利を貪る者の途はかくの如し、是の持主をして生命をうしなはしむるなり二十 智慧外に呼はり獨に其聲をあげ二十一 熱鬧しき所にさけび城市の門の口邑の中にその言をのべていふ二十二 ちら拙者のつたなきを愛し、嘲笑者のあざけりを樂み、愚なる者の智識を惡むは幾時までぞや二十三 わが督斥にしたがひて心を改めよ、視よわれ我が靈を汝らにそくぎ我が言をなんぢらに示さん二十四 われ呼たれども汝らこたへず、手を伸たれども願る者なく二十五 かへつて我がすべての勸告をすて、我が督斥を受ざりしに由り二十六 われ汝らが禍災にあふとさ之を笑ひ、汝らの恐懼きたらんとさ嘲るべし二十七 これは汝らのおそれ颯風の如くきたり、汝らのほろび颯風の如くきたり、艱難とかなしみと汝らにきたらん時なり二十八 そのとき彼等われを呼ばん、然れどわれ應へじ、只管に我を求めん、されど我に遇じ二十九 かれら智識

を憎み又エホバを畏るゝことを悦ばず三十 わが勸に從はず凡て或が督斥をいやしめたるによりて三十一 己の途の果を食ひちのれの策略に飽べし三十二 拙者の違逆はちのれを殺し、愚なる者の幸福はちのれを滅さん三十三 されど我に聞ものは平穩に住ひかつ禍害にあふ恐怖なくして安然ならん

第二章我が子に汝もし我が言をうけ我が誠命を汝のこころに藏め一 斯て汝の耳を智慧に傾け汝の心をさとりむけ二 もし知識を呼求め聰明をえんと汝の聲をあげ三 銀の如くこれを探り、秘れたる寶の如くこれを尋ば汝エホバを畏るゝことを曉り神を知ることを得べし四 そはエホバは智慧をあたへ、智識と聰明とその口より出ればなり五 かれは義人のために聰明をたくはへ直く行む者の質となる六 そは公平の途をたもちその聖徒の途すぢを守りたまへばなり七 斯て汝はつひに公義と公平と正直と一切の善道を曉らん八 すなはち智慧なんぢの心にいり智識なんぢの靈魂に樂しからん九 謹慎なんぢを守り聰明なんぢをたもちて十 惡き途よりすくひ虚偽をかたる者より救はん十一 彼等は直き途をはなれて幽暗さ路に行み十二 惡を行ふを樂み、惡者のいつはりを悦び十三 その途は

まがりその行爲は邪曲なり、明はまた汝を妓女より救ひ言をもて諂ふ婦より救はん十七  
 彼はわかき時の侶をすて、その神に契約せしことを忘るゝなり十八その家は死に下りそ  
 の途は陰府に趣く十九凡てかれにゆく者は歸らず、また生命の途に達らざるなり二十聰明  
 汝をたもちてよき途に行ませ義人の途を守らしめん三そは義人は地にながらへをり完  
 全者は地に止らん三されど悪者は地より亡ぼされ、悖逆者は地より拔さらるべし  
 第三章我が子よわが法を忘るゝなかれ、汝の心にわが誠命をまもれ二さらば此事は汝  
 の日をながくし生命の年を延べ平康をなんちに加ふべし三仁慈と直實とを汝より離す  
 ことなかれ、之を汝の項にむすび、これを汝の心の碑にするせ四さらばなんぢ神と人  
 との前に恩寵と好名とを得べし五汝こゝろを盡してエホバに倚頼め、おのれの聰明に  
 倚るとなかれ六汝すべての途にてエホバをみとめよ、さらばなんぢの途を直きたまふ  
 べし七自から見て聰明とする勿れエホバを畏れて惡を離れよ八これ汝の身に良薬とな  
 り汝の骨に滋潤とならん九汝の貨財と汝がすべての産物の初生をもてエホバをあがめ  
 よ十さらば汝の倉庫はみちて餘り、汝の酒醪は新き酒にて溢れん〇十一我子よなんぢエ

ホバの懲治をかるんずる勿れ、その譴責を受けるを厭ふと勿れ十二それエホバはその愛す  
 る者をいましめたまふ、あだかも父のその愛する子を誹むるが如し十三智慧を求め得る  
 人および聰明をうる人は福なり十四そは智慧を獲るは銀を獲るに愈り、その利は精金よ  
 りも善ければなり十五智慧は眞珠よりも貴し、汝の凡ての財寶も之と比ぶるに足らず十六  
 其右の手には長壽あり、その左の手には富と尊貴とあり十七その途は樂き途なり、その  
 徑すぢは悉く平康し十八これは執る者には生命の樹なり、之を持つものは福なり十九エホバ  
 智慧をもて地をさだめ、聰明をもて天を置たまへり二十その知識によりて海洋はわさい  
 て、雲は露をそくぐなり三我が子よこれらを汝の眼より離す勿れ、聰明と謹慎とを守  
 れ三然ばこれは汝の靈魂の生命となり、汝の項の妝飾とならん三かくて汝やすらかに  
 汝の途をゆかん、又なんぢの足つまづかじ四なんぢ臥とき怖るゝところあらず、臥と  
 きは酣く睡らん三五なんぢ猝然なる恐懼をおそれず惡者の滅亡きたる時も之を怖るまじ  
 三そはエホバは汝の倚頼むものにして汝の足を守りてとらはれしめたまはざるべけれ  
 ばなり三七汝の手善をなす力あらば之を爲すべき者に爲さざること勿れ三八もし汝に物あ

らば汝の鄰に向ひ去て復來れ明日われ汝に予へんといふなかれ  
 汝の鄰なんぢの傍に安らかに居らば之にむかひて惡を謀ること勿れ  
 三人もし汝に惡を爲さずば故なく之と争ふと勿れ  
 三 暴虐人を羨むことなく、そのすべての途を好とすることなかれ  
 三 是は邪曲なる者はエホバに惡まるればなり、されど義者はその親さ者とせらるべし  
 三 エホバの呪詛は惡者の家にあり、されど義者の室はかれにめぐまる  
 三 彼は嘲笑者をあざけり謙る者に恩恵をあたへたまふ  
 三 智者は尊榮をえ、愚なる者は羞辱之をとりさるべし  
 第四章 小子等よ父の訓をきけ、聰明を知らんために耳をかたむけよ  
 二 われ善教を汝らにさづくわが律を棄ることなかれ  
 三 われも我が父には子にして我が母の目には獨の愛子なりき  
 四 父われを教へていへらく我が言を汝の心にとどめ、わが誠命をまもれ、然らば生べし  
 五 智慧をえ聰明をえよ、これを忘るゝなかれ、また我が口の言に身をそむくるなかれ  
 六 智慧をすつることなかれ  
 七 彼なんぢを守らん、彼を愛せよ  
 八 彼なんぢを保たん  
 七 智慧は第一なるものなり、智慧をえよ、凡て汝の得たる物をもて聰明をえよ  
 八 彼を尊とべ、さらば彼なんぢを高く擧げん、もし彼を懷かば彼汝を尊榮からまめんか  
 九 かれ

美き飾を汝の首に置き、榮の冠弁を汝に予ん  
 〇 我が子よきけ、我が言を納よ、さらば汝の生命の年あはからん  
 十一 われ智慧の道を汝に教へ、義き徑筋に汝を導けり  
 十二 歩くとき汝の歩は艱まず、趨るときも蹶かじ  
 十三 堅く訓誨を執て離すこと勿れ、これを守れ、これは汝の生命なり  
 十四 邪曲なる者の途に入ることなかれ、惡者の路をあゆむことなかれ  
 十五 これを避よ、過ること勿れ、離れて去れ  
 十六 そは彼等は惡を爲さざれば睡らず人を蹶かせざればいねず  
 十七 不義のパンを食ひ暴虐の酒を飲めばなり  
 十八 義者の途は旭光のごとし、いよく光輝をまして晝の正午にいたる  
 十九 惡者の途は幽冥のごとし、彼らはその蹟くものゝなになるを知ざるなり  
 〇 二十 わが子よ我が言をきけ、我が語るところに汝の耳を傾けよ  
 二 これを汝の目より離すこと勿れ  
 三 汝の心のうちに守れ  
 四 是は之を得るものゝ生命にしてまたその全軀の良藥なり  
 五 すべては操守べき物よりもまさりて汝の心を守れ、そは生命の流これよりいづればなり  
 六 虚偽の口を汝より棄さり  
 七 惡き口唇を汝より遠くはなせ  
 八 汝の目は正しく視、汝の眼瞼は汝の前を眞直に視るべし  
 九 汝の足の徑をかながはかり、汝のすべての途を直くせよ  
 十 右にも左にも偏ること勿れ  
 十一 汝の

足を悪より離れしめよ

第五章我が子よわが智慧をさけ、汝の耳をわが聰明に傾けニ志かしてなんぢ謹慎を守り汝の口唇に知識を保つべし三媚妓の口唇は蜜を滴らし其口は脂よりも滑なり四されど其終は茵陳の如くに苦く兩刀の劍のごとくに利し五その足は死に下り、その歩は陰府に越く六彼は生命の途に入らず、其徑はさだかならねども自らこれを知らざるなり七小子等よいま我にさけ、我が口の言を棄る勿れ八汝の途を彼より遠く離れしめよ、其家の門に近くことなかれ九恐くは汝の榮を他人にわたし汝の年を憐憫なき者にわたすにいたらん十恐くは他人なんぢの資財によりて盈され、汝の勞苦は他人の家にあらん十一終にいたりて汝の身なんぢの躰亡ぶる時なんぢ泣悲ていはん十二われ教をいとひ、心に譴責をかるんじ十三我が師の聲をさかず我を教ふる者に耳を傾けず十四あつまりの中會衆のうちにてほとんと諸の惡に陥れりと十五汝おのれの水溜より水を飲み、おのれの泉より流るゝ水をのめ十六汝の流をほかに溢れしめ、汝の河の水を欄に流れしむべけんや十七これを自己に歸せしめ、他人をして汝と偕に之に與らしむること勿れ十八汝の泉に福

社を受しめ、汝の少き時の妻を樂め十九彼は愛くしき塵のごとく、美しき鹿の如し、その乳房をもて常にたれりとしその愛をもて常によるこべ二十我子よ何なればあそびめをたのしみ淫婦の胸を懐くや三それ人の途はエホバの目の前にあり、彼はすべて其行爲を量りたまふ四惡者はおのれの愆にとらへられ、その罪の繩に繋る五彼は訓誨なきによりて死、その多の恐なることに由りて亡ぶべし

第六章我子よ汝もし朋友のために保證をなし、他人のために汝の手を拍ばニ汝その口の言によりてわなにかゝりその口の言によりてとらへらるゝなり三我子よ汝友の手に陥りしならば斯して自ら救へ、すなはち往て自ら謙たり只管なんぢの友に求め四汝の目をして睡らしむることなく汝の眼瞼をして閉しむること勿れ五かりうどの手より鹿ののがるゝごとく、鳥とる者の手より鳥ののがるゝ如くしてみづからを救へ六情者よ蟻にゆき其爲すところを觀て智慧をえよ七蟻は首頭なく有司なく君王なけれども八夏のうちに食をそなへ、収穫のときに糧を斂む九情者よ汝いづれの時まで臥息むや、いづれの時まで睡りて起ざるや十しばらく臥しましばらく睡り手を又さてまた片時やす



ひにさらば汝の貧窮は盗人の如くきたり、汝の缺乏は兵士の如くきたるべし○十二邪曲  
 なる人あしき人は虚偽の言をもて事を行ふ十三彼は眼をもて胸せし、脚をもてしらせ、  
 指をもて示す十四その心に虚偽をたもち、常に悪をはかり、争端を起す十五この故にその  
 禍害にはかに來り、援助なくして立刻に敗らるべし十六エホバの憎みたまふもの六あり  
 否その心に嫌ひたまふもの七あり十七即ち驕る目いつはりをいふ舌、つみなき人の血を  
 流す手十八悪き謀計をめぐらす心すみやかに悪に趨る足十九詐偽をのぶる證人および兄弟  
 のうちに争端をおこす者なり○二十我子よ汝の父の誠命を守り、汝の母の法を棄る勿れ  
 三常にこれを汝の心にむすび之をなんぢの頸に佩よ三これは汝のゆくとき汝をみちび  
 き、汝の寝るとき汝をまもり、汝の寤るとき汝とかたらん三それ誠命は燈火なり、法  
 は光なり教訓の懲治は生命の道なり四これは汝をまもりて悪き婦よりまぬかれしめ、  
 汝をたもちて淫婦の舌の詭媚にまどはされざらしめん五その艶美を心に戀ふことなか  
 れその眼險に捕へらるゝこと勿れ六それ娼妓のために人はたゞ僅に一撮の糧をのこす  
 のみにいたる、又淫婦は人の貴き生命を求むるなり七人は火を懷に抱きてその衣を焚

れざらんや八人は熱火を踏てその足を焚れざらんや九その隣の妻と姦淫をおこなふ者  
 もかくあるべし凡てこれに捫る者は罪なしとせられず十竊む者もし飢しときに其飢を  
 充さん爲にぬすめるならば人これを覘せじ三もし捕へられなばその七倍を償ひ其家の  
 所有をことごとく出さるべからず三三婦と姦淫をおこなふ者は智慧なきなり之を行ふ  
 者はおのれの靈魂を亡ぼし三傷と凌辱とをうけて其恥を雪くこと能はず四妬忌その夫  
 をして忿怒をもやさしむればその怨を報ゆるときかならず寛さじ三三いかなる贖物をも  
 顧みず衆多の贖物をなすともやはらがざるべし

第七章我子よわが言をまもり我が誠命を汝の心にたくはへよ二我が誠命をまもりて生  
 命をえよ、我法を守ること汝の眸子を守るが如くせよ三これを汝の指にむすび、これ  
 を汝の心の碑に銘せ四なんぢ智慧にむかひて汝はわが姉妹なりといひ、明理にむかひ  
 て汝はわが友なりといへ五さらば汝をまもりて淫婦にまよはざらしめ言をもて媚る娼  
 妓にとほざからしめん六われ我室の扉により櫃子よりのぞきて七拙き者のうち、幼弱  
 者のうちに一人の智慧なき者あるを觀たり八彼嚮をすぎ婦の門にちかづき其家の路に

ゆき九黄昏に半宵に夜半に黒暗の中にあるけり十時に娼妓の衣を着たる狡らなる婦が  
 れにあふ十二この婦は諱しくしてつゝしみなく其足は家に止らず十三あるときは衢にあり  
 或時はひろばにあり、すみぐにたちて人をうかゞふ十三この婦かれをひきて接吻し、  
 恥しらぬ面をもていひけるは十四われ酬恩祭を獻げ今日すてにわが誓願を償せり十五これ  
 によりて我なんぢを迎へんとていて汝の面をたづねて汝に逢へり十六わが榻には美しき  
 褥およびエジプトの文象をしき十七没藥蘆薈桂皮をもて我が榻にそゞり十八來れわれら  
 詰朝まで情をつくし愛をかよはして相なぐさめん十九そは夫は家にあらず遠く旅立して  
 二十手に金篋をとれり、望月ならでは家に歸らじと二十多の婉言をもて惑はし、口唇  
 の語媚をもて誘へば三わかき人たゞちにこれに隨へり、あたかも牛の幸地にゆくが如  
 く、愚かなる者の桎梏をかけらるゝ爲にゆくが如し三遂には矢その肝を刺さん、鳥の  
 速かに羅にいりてその生命を喪ふに至るを知ざるがごとし三四小子等よいま我にさけ、  
 我が口の言に耳を傾けよ三五なんぢの心を淫婦の道にかたむくこと勿れ、またこれが  
 徑に迷ふこと勿れ三六そは彼は多の人を傷つけて仆せり、彼に殺されたる者ぞ多かる三七

その家は陰市の途にして死の室に下りゆく

第八章智慧は呼はらざるか、聰明は聲を出さざるかニ彼は路のほとりの高處また街衢  
 のなかに立ち三邑のもろくの門、邑の口および門々の入口にて呼はりいふ四人々よ  
 われ汝をよび、我が聲をもて人の子等をよぶ五拙き者よなんぢら聰明に明らかなれ、  
 愚かなる者よ汝ら明らかなる心を得よ六汝さけ、われ善事をかたらん、わが口唇をひ  
 らさて正事をいださん、七我が口は眞實を述べ、わが口唇はあしき事を憎むなりハわ  
 が口の言はみな義し、そのうちに虚偽と奸邪とあることなし九是みな智者の明かにす  
 るところを知識をうる者の正とするところなり十なんぢら銀をうくるよりは我が教をう  
 けよ、精金よりもむしろ知識をえよ十一その智慧は眞珠に愈れり、凡の寶もこれに比ぶ  
 るに足らず十二われ智慧は聰明をすみかとし、知識と謹慎にいたる十三ニホバを畏るゝと  
 は悪を憎むことなり、我は傲慢と驕奢、惡道と虚偽の口とを憎む十四謀略と聰明は我に  
 あり、我は了知なり、我は能力あり十五我に由て王者は政をなし君たる者は義き律を  
 たて十六我によりて主たる者および牧伯たちなどすべて地の審判人は世ををさむむわれ

を愛する者は我これを愛す、我を切にもとむるものは我に遇ん十八富と榮とは我にあり  
 貴き寶と公義とも亦然り十九わが果は金よりも精金よりも愈り、わが利は精銀よりもよ  
 し二十我は義き道にあゆみ公平なる路徑のなかを行む三これ我を愛する者に貨財をえさ  
 せ又その庫を充しめん爲なり三エホバいにしへ其御わざをなしそめたまへる前にその  
 道の始として我をつくりたまひき三永遠より、元始より、地の有ざりし前より我は立  
 られ三いまだ海洋あらず、いまだ大なるみづの泉あらざりしとき我すでに生れ三山い  
 まださだめられず、陵いまだ有ざりし前に我すでに生れたり三即ち神いまだ地をも野  
 をも地の塵の根元をも造りたまはざりし時なり三かれ天をつくり、海の面に穹蒼を張  
 たまひしとき我かしこに在き三彼らへに雲氣をかたく定め淵の泉をつよくならしめ三  
 海にその限界をたて、水をしてその岸を踰ざらしめ、また地の基を定めたまへるとき  
三我はその傍らにありて創造者となり、日々に欣び、恒にその前に樂み三その地にて  
 樂み又世の人を喜べり三されば小子等よいま我にさけわが道をまもる者は福ひなり三  
 教をさして智慧をえよ、之を棄ることなかれ三凡そ我にさし、日々わが門の旁らにま

ち、わが戸口の柱のわきにたつ人は福ひなり三そは我を得る者は生命をえエホバより  
 恩寵を獲ればなり三我を失ふものは自己の生命を害ふすべて我を惡むものは死を愛す  
 るなり

第九章智慧はその家を建てその七の柱を砍成し二その畜を宰り、その酒を和混せその

筵をそなへ三その婢女をつかはして邑の高處に呼はりいはしむ四拙者よこゝに來れ  
 と、また智慧なき者にいふ五汝等きたりて我が糧を食ひ、わがませあはせたる酒をの  
 み六拙劣をすて、生命をえ、聰明のみちを行め七嘲笑者をいましむる者は恥を己に  
 え、惡人を責る者は疵を己にえん八嘲笑者を責ることなかれ、恐くは彼なんぢを惡ま  
 ん、智慧ある者をせめよ、彼なんぢを愛せん九智慧ある者に授けよ彼はますます智慧  
 をえん、義者を教へよ彼は知識に進まん十エホバを畏るゝことは智慧の根本なり聖者  
 を知るは聰明なり十一我によりて汝の日は多くせられ、汝のいのちの年は増べし十二汝も  
 し智慧あらば自己のために智慧あるなり、汝もし嘲らば汝ひとり之を負ん十三愚なる  
 婦は嘩しく且つたなくして何事をも知らず十四その家の門に坐し、邑のたかき處にある

坐にすわり十五道をますぐに過る往來の人を招きていふ夫拙者よこゝに來れと、また智十六慧なき人にむかひては之にいふ十七竊たる水は甘く、密かに食ふ糧は美味ありと十八彼處にある者は死し者、その客は陰府のふかき處にあることを是等の人は知らざるなり

第十章ソロモンの箴言○智慧ある子は父を欣ばす、愚なる子は母の愛なり、二不義の財は益なし、されど正義は救ひて死を脱かれしむ三エホバは義者の靈魂を饑しめず、悪者四にその欲するところを得ざらしむ、五手をものうくして働くものは貧くなり、勤めはたらく者の手は富を得、六夏のうちに飲むる者は智き子なり、收穫の時にねむる者は辱をさたす子なり、七義者の首には福祉さたり、悪者の口は強暴を掩ふ、八義者の名は讃られ、悪者の名は腐る、九心の智き者は誠命を受く、されど口の愚頑なる者は滅さる、十直くあゆむ者はそのあゆむこと安し、されどその途に曲る者は知るべし十一眼をもて胸十二せる者は憂をおこし、口の頑愚なる者は亡さる、十三義者の口は生命の泉なり、悪者の口は強暴を掩ふ、十四怨恨は争端をおこし、愛はすべての怨を掩ふ、十五哲者のくちびるには智慧あり、智慧なき者の背のためには鞭あり、十六智慧ある者は

智識をたくはふ、愚かなる者の口はいまにも滅亡をさたらす、十七富者の貨財はその堅き城なり、貧者のともしきはそのほろびなり、十八義者の動作は生命にいたり、悪者の利得は罪にいたる、十九教をまもる者は生命の道にあり、懲戒をすつる者はあやまりにちちいる、二十怨をかくす者には虚偽のくちびるあり、誹謗をいだす者は愚かなる者なり、二十一言をほければ罪なきことあたはず、その口唇を禁むるものは智慧あり、二十二義者の舌は精銀のごとし、悪者の心は價すくなし二十三義者の口唇はちほくの人をやしなひ、愚なる者は智慧なきに由て死ぬ、二十四エホバの祝福は人を富す、人の勞工はこれに加ふるところなし、二十五愚かなる者は悪をなすを戯れごとくす、智慧のさとかる人にとりても是のごとし、二十六悪者の怖るるところは自己にきたり、義者のねがふところはあたへらる、二十七狂風のすぐるとき悪者は無に歸せん、二十八義者は窮なくたもつ基のごとし二十九情る者のこれを遣すものに於けるは酢の齒に於るが如く煙の目に於るが如し、三十エホバを畏ることは人の目を多くす、されど悪者の年はちいめらる、三十一義者の望は喜悅にいたり、悪者の望は絶へし、三十二エホバの途は直者の城となり、悪を行なふもの

滅亡となる、<sup>三</sup>義者は何時までも動かされず、<sup>四</sup>悪者は地に住くことを得じ、<sup>五</sup>義者の口は智慧をいだすなり、<sup>六</sup>虚偽の舌は拔るべし、<sup>七</sup>義者のくちびるは喜ばるべしことをわきまへ、<sup>八</sup>悪者の口はいつはりを語る

第十一章いづはりの權衡はエホバに惡まれ義しき砒碼は彼に欣ばる、<sup>二</sup>驕傲きたれば辱も亦きたる、<sup>三</sup>謙だる者には智慧あり、<sup>四</sup>直者の端莊は己を導びき、<sup>五</sup>悖逆者の邪曲は己を亡ぼす、<sup>六</sup>實は震怒の日に益なし、<sup>七</sup>されど正義は救ふて死をまぬかれしむ、<sup>八</sup>完全者はその正義によりてその途を直くせられ、<sup>九</sup>悪者はその惡によりて跌るべし、<sup>一〇</sup>直者はその正義によりて救はれ悖逆者は自己の惡によりて執へらる、<sup>一一</sup>悪人は死るときにその望たへ、<sup>一二</sup>不義なる者の望もまた絶ゆべし、<sup>一三</sup>義者は艱難より救はれ、<sup>一四</sup>悪者はこれに代る、<sup>一五</sup>邪曲なる者は口をもてその隣を亡ぼす、<sup>一六</sup>されど義しき者はその知識によりて救はる、<sup>一七</sup>義しきもの幸福を受けばその城邑に歡喜あり、<sup>一八</sup>惡きもの亡さるれば歡喜の聲あこる、<sup>一九</sup>城邑は直者の祝ふに倚て高く舉られ、<sup>二〇</sup>悪者の口によりて亡ぶる、<sup>二一</sup>その隣を侮る者は智慧なし、<sup>二二</sup>總明人はその口を噤む、<sup>二三</sup>往て人の是非をいふ者は密串を洩

し、<sup>一</sup>心の忠信なる者は事を隠す、<sup>二</sup>十四はかりごとなければ民たふれ、<sup>三</sup>議士多ければ平安なり、<sup>四</sup>他人のために保證をなす者は苦難をうけ、<sup>五</sup>保證を嫌ふ者は平安なり、<sup>六</sup>矛盾なる婦は榮譽をえ強き男子は資財を得、<sup>七</sup>慈悲ある者は己の靈魂に益をくはへ、<sup>八</sup>残忍者はちのれの身を援はす、<sup>九</sup>悪者の獲る報はむなく、<sup>一〇</sup>義を播ものゝ得る報賞は確し、<sup>一一</sup>堅く義をたもつ者は生命にいたり、<sup>一二</sup>惡を追もとむる者はちのれの死をまぬく、<sup>一三</sup>心の戻れる者はエホバに憎まれ、<sup>一四</sup>直く道を歩む者は彼に悦ばる、<sup>一五</sup>三手に手をあはするとも悪人は罪をまぬかれず、<sup>一六</sup>義人の苗裔は救を得、<sup>一七</sup>美しき婦のつゝしみなきは金の環の豕の鼻にあるが如し、<sup>一八</sup>義人のねがふところは凡て福祉にいたり、<sup>一九</sup>悪人のものぞむところは震怒にいたる、<sup>二〇</sup>ほどこし散して反りて増ものあり與ふべきを吝みてかへりて貧しさにいたる者あり、<sup>二一</sup>施與を好むものは肥え人を潤ほす者はまた利潤をうく、<sup>二二</sup>穀物を藏めて糶ざる者は民に詛はる然ど售る者の首には祝福あり、<sup>二三</sup>善をもとむる者は恩恵をえん、<sup>二四</sup>惡をもとむる者には惡き事きたらん、<sup>二五</sup>ちのれの富を恃むものは仆れん、<sup>二六</sup>されど義者は樹の青葉のごとくさかえん、<sup>二七</sup>ちのれの家をくるしむるものは風を

えて所有とせん愚なる者は心の智きものと僕とならん、<sup>三十一</sup>義人の果は生命の樹なり、  
智慧ある者は人を捕ふ<sup>三二</sup>みよ義人すらも世にありて報をうくべし、<sup>三十三</sup>况て悪人と罪人と  
をや

第十二章訓誨を愛する者は智慧を愛する懲戒を惡むものは畜のごとし、<sup>一</sup>善人はエホ  
バの恩寵をうけ、<sup>二</sup>惡き謀略を設くる人はエホバに罰せらる、<sup>三</sup>人は惡をもて堅く立こ  
とあたはず、<sup>四</sup>義人の根は動くことなし、<sup>五</sup>賢き婦はその夫の冠弁なり、<sup>六</sup>辱をきたらす  
る婦は夫をしてその骨に腐あるが如くならしむ、<sup>七</sup>義者のあもひは直し、<sup>八</sup>惡者の計る  
ところは虚偽なり、<sup>九</sup>惡者の言は人の血を流さんとて伺ふ、<sup>十</sup>されど直者の口は人を救  
ふなり、<sup>十一</sup>惡者はたふされて無ものとならん、<sup>十二</sup>されど義者の家は立べし、<sup>十三</sup>人はその  
聰明にしたがいて譽られ、<sup>十四</sup>心の悖れる者は藐めらる、<sup>十五</sup>卑賤してしもべある者は自ら  
たかぶりて食に乏き者に愈る、<sup>十六</sup>義者はその畜の生命を顧みる、<sup>十七</sup>されど惡者は殘忍を  
もてその憐憫とす、<sup>十八</sup>そののれの田地を耕すものは食にあく、<sup>十九</sup>放蕩なる人にしたがふ者  
は智慧なし、<sup>二十</sup>惡者はあしき人の獲たる物をうらやみ、<sup>二十一</sup>義者の根は芽をいだす、<sup>二十二</sup>惡

者はくちびるの徳によりて罟に陥る、<sup>二十三</sup>されど義者の患難の中よりまぬかれいでん、<sup>二十四</sup>  
人はその口の徳によりて福祉に飽ん、<sup>二十五</sup>人の手の行爲はその人の身にかへるべし、<sup>二十六</sup>愚  
なる者はみづからその道を見て正しとす、<sup>二十七</sup>されど智慧ある者はすくめを容る、<sup>二十八</sup>愚な  
る者はたぐちに忽をあらはし智きものは恥をつとむ、<sup>二十九</sup>直實をいふものは正義を述へ  
いつはりの證人は虚偽をいふ<sup>三十</sup>妄りに言をいだし劍をもて刺がごとくする者あり、<sup>三十一</sup>さ  
れど智慧ある者の舌は人をいやす、<sup>三十二</sup>眞理をいふ口唇は何時までも存つ、<sup>三十三</sup>されど虚偽  
をいふ舌はたぐ暖息のあひだのみなり、<sup>三十四</sup>惡事をはかる者の心には欺詐あり、<sup>三十五</sup>和年を  
議る者には歡喜あり、<sup>三十六</sup>義者には何の禍害も來らず、<sup>三十七</sup>惡者はわざはひをもて充ざる、  
<sup>三十八</sup>いつはりの口唇はエホバに憎まれ、<sup>三十九</sup>直實をもちなふ者は彼に悦ばる、<sup>四十</sup>賢人は知識  
をかくす、<sup>四十一</sup>されど愚なる者のころは愚かなる事を述べ、<sup>四十二</sup>勤はたらく者の手は人を  
をさむるにいたり、<sup>四十三</sup>惰者は人に服ふるにいたる、<sup>四十四</sup>うれひ人の心にあれば之を屈ます  
されど善言はこれを樂します、<sup>四十五</sup>義者はその友に道を示す、<sup>四十六</sup>されど惡者は自から途に  
まよふ、<sup>四十七</sup>惰者はそののれ獵獲たる物をも焼かず、<sup>四十八</sup>勉めはたらくことは人の貴とを實な

り、<sup>三六</sup>義しき道には生命あり、その道すぢには死なじ

**第十三章** 智慧ある子は父の教訓をさく、<sup>一</sup>戯謔者は懲治をさかず、<sup>二</sup>人はその口の徳によりて福祉をくらひ、<sup>三</sup>悖逆者の靈魂は強暴をくらふ、<sup>四</sup>その口を守る者はその生命を守る、その口唇を大きくひらく者には滅亡きたる、<sup>五</sup>憎たる者はこゝろに慕へども得ることなし、<sup>六</sup>勤はたらく者の心は豊饒なり、<sup>七</sup>義者は虚偽の言をにくみ悪者ははぢをかうむらせ面を赤くせしむ、<sup>八</sup>義は道を直くあゆむ者をまもり、<sup>九</sup>悪は罪人を倒す、<sup>一〇</sup>自から富るといひあらはして些少の所有もなさ者あり、<sup>一一</sup>自から貧しと稱へて資財おほさ者あり、<sup>一二</sup>人の資財はその生命を贖ふものとなるあり、<sup>一三</sup>然ど貧者は威嚇をさくことあらず、<sup>一四</sup>義者の光は輝き、<sup>一五</sup>悪者の燈火はけさる、<sup>一六</sup>驕傲はたゞ争端を生ず、<sup>一七</sup>勸告をさく者は智慧あり、<sup>一八</sup>詭詐をもて得たる資財は滅る、<sup>一九</sup>されど手をもて聚めたくはふる者はこれを増すことを得、<sup>二〇</sup>望を得ること遅きときは心を疾しめ、<sup>二一</sup>願ふ所既にとぐるときは生命の樹を得たるがごとし、<sup>二二</sup>御言をかろんずる者は亡され、<sup>二三</sup>誠分をおそる者は報賞を得、<sup>二四</sup>智慧ある人の教訓はいのちの泉なり、<sup>二五</sup>能く人をして死の罟を脱れしむ

<sup>一</sup>善にして哲きものは恩を蒙る、<sup>二</sup>されど悖逆者の途は艱難なり、<sup>三</sup>凡そ賢者は知識に由りて事をおこなひ、<sup>四</sup>愚なる者はちのれの痴を顯す、<sup>五</sup>悪き使者は災禍に陥る、<sup>六</sup>なれど忠信なる使者は良薬の如し、<sup>七</sup>貧乏と恥辱とは教訓をすつる者にきたる、<sup>八</sup>されど謙責を守る者は尊まる、<sup>九</sup>望を得れば心に甘し、<sup>一〇</sup>愚なる者は悪を棄ることを嫌ふ、<sup>一一</sup>智慧ある者と偕にあゆむものは智慧をえ思なる者の友となる者はあしくなる、<sup>一二</sup>わざはひは罪人を追ひ、<sup>一三</sup>義者は善報をうく、<sup>一四</sup>善人はその産業を子孫に遺す、<sup>一五</sup>されど罪人の資財は義者のために蓄へらる、<sup>一六</sup>貧乏者の新田にはちほくの糧あり、<sup>一七</sup>されど不義によりて亡ぶる者あり、<sup>一八</sup>鞭をくはへざる者はその子を憎むなり子を愛する者はしきりに之をいましむ、<sup>一九</sup>義しき者は食をえて飽く、<sup>二〇</sup>されど悪者の腹は空し

**第十四章** 智慧ある婦はその家をたて、<sup>一</sup>愚なる婦はちのれの手をもて之を毀つ、<sup>二</sup>直くあゆむ者はエホバを畏れ曲りてあゆむ者はこれを侮どる、<sup>三</sup>愚なる者の口にはその傲のためには鞭笞あり、<sup>四</sup>智者の口唇はちのれを守る、<sup>五</sup>牛なければ飼養倉むなし、<sup>六</sup>牛の力によりて生産る物おほし、<sup>七</sup>忠信の證人はいつはらず、<sup>八</sup>虚偽のあかしびとは讒言を吐く

六 嘲笑者は智慧を求めどもえず、哲者は知識を得ること容易し、七 汝おろかなる者の前を離れされ、つひに知識の彼にあるを見ざるべし、八 賢者の智慧はおのれの道を曉るにあり、愚なる者の痴は欺くにあり、九 おろかなる者は罪をかるんず、されど義者の中には恩恵あり、十 心の苦みは心みづから知る、そのよろこびには他人あづからず、十一 悪者の家は亡され、正直者の幕屋はさかゆ、十二 人のみづから見て正しとする途にしてその終はつひに死にいたる途となるものあり、十三 笑ふ時にも心に悲あり、歡樂の終に憂あり、十四 心の恃れる者はおのれの途に飽ん、善人もまた自己に飽ん、十五 拙者はすべての言を信ず、賢者はその行を慎む、十六 智慧ある者は怖れて悪をはなれ、愚なる者はたかぶりて怖れず、十七 怒り易き者は愚なることを行ひ、悪き謀計を設くる者は悪まる、十八 拙者は愚なる事を得て所有となし、賢者は知識をもて冠弁となす、十九 悪者は善者の前に俯伏し、罪ある者は義者の門に俯伏す、二十 貧者はその鄰にさへも悪する、されど富者を愛する者はおほし、三十一 其の鄰を藐むる者は罪あり、困苦者を憐むものは幸福あり、三十二 悪を謀る者は自己をあやまるにあらずや、善を謀る者には憫憫と直實あり

三十三 三すすべての勤勞には利益あり、されど口唇のことばは貧乏をきたらすのみなり、三十四 智慧ある者の財寶はその冠弁となる、愚なる者のおろかはたゞ痴なり、三十五 眞實の證人は人のいのちを救ふ、謊言を吐く者は偽人なり、三十六 エホバを畏るゝことは堅き依頼なり、その見輩は逃避場をうべし、三十七 エホバを畏るゝことは生命の泉なり、人を死の罟より脱れしむ、三十八 王の榮は民の多きにあり、牧伯の衰敗は民を失ふにあり、三十九 怒を遅くする者は大なる知識あり、水の短き者は愚なることを顯す、四十 心の安穩なるは身のいのちなり、媚嫉は骨の腐なり、三十一 貧者を虐ぐる者はその造主を侮るなり、彼をうやまう者は貧者をあはれむ、三十二 悪者はその悪のうちにて亡ざれ、義者はその死ぬる時にも望あり、三十三 智慧は哲者の心にとどまり、愚なる者の衷にある事はあらはる、三十四 義は衝を高くし、罪は民を辱しむ、三十五 とき候は王の恩を蒙り、辱をきたらす者はその震怒にあふ

第十五章 柔和かなる答は憤恨をとどめ、厲しき言は怒を激す、二 智慧ある者の舌は知識を善きものともはしめ、愚なる者の口はちろかをはく、三 エホバの目は其處にもあ



りて悪人と善人とを鑒みる、<sup>四</sup>溫柔き舌は生命の樹なり、<sup>五</sup>悖れる舌は靈魂を傷ましむ  
 惡なる者は其父の訓を<sup>六</sup>かろんず、<sup>七</sup>誠命をまもる者は賢者なり、<sup>八</sup>義者の家には多くの  
 資財あり、<sup>九</sup>惡者の利潤には擾累あり、<sup>十</sup>智者のくちびるは知識をひろむ、<sup>十一</sup>惡なる者  
 の心は定りなし、<sup>十二</sup>惡者の祭物はエホバに憎まれ直き人の祈は彼に悦ばる、<sup>十三</sup>惡者の  
 道はエホバに憎まれ、<sup>十四</sup>正義をもとむる者は彼に愛せらる、<sup>十五</sup>道をはなると者には嚴し  
 き懲治あり、<sup>十六</sup>讒責を惡むものは死ぬべし、<sup>十七</sup>陰府と沈淪とはエホバの目の前にあり况  
 て人の心をや<sup>十八</sup>嘲笑者は誠めらることを好まず、<sup>十九</sup>また智慧ある者に近づかず、<sup>二十</sup>心  
 に喜樂あれば顔色よろこばし、<sup>二十一</sup>心に憂苦あれば氣ふさぐ<sup>二十二</sup>哲者のこころは知識をたづ  
 ね、<sup>二十三</sup>愚なる者の口は愚をくろふ、<sup>二十四</sup>艱難者の日はことごとく悪く心の懽へる者は恒に  
 酒宴にあり、<sup>二十五</sup>すこしの物を有てエホバを畏るとは多の寶をもちて擾煩あるに愈る、  
<sup>二十六</sup>疏菜をくらひて互に愛するは肥たる牛を食ひて互に恨むるに愈る、<sup>二十七</sup>憤ほり易さも  
 のは争端をよこし、<sup>二十八</sup>怒をよそくする者は争端をとどむ、<sup>二十九</sup>情者の道は棘の籬に似たり  
 直者の途は平坦なり、<sup>三十</sup>智慧ある子は父をよろこばせ、<sup>三十一</sup>愚なる人はその母を<sup>三十二</sup>かろんず

二 無知なる者は愚なる事をよろこび哲者はその途を直くす  
 三 相謀ることあらざれば謀計やぶる議者ちほければ謀計かならず成る、  
 四 人はその口の答によりて喜樂を得言語を出して時に適ふはいかに善らずや、  
 五 智人の途は生命の路にして上へ昇りゆく、  
 六 陰府を離れんが爲なり、  
 七 エホバはたかぶる者の家をほろぼし、  
 八 寡婦の地界をさだめたまふ、  
 九 あしき謀計はエホバに憎まれ、  
 十 溫柔き言は潔白し、  
 十一 不義の利をむさぼる者はその家をわすらはせ、  
 十二 賄賂をにくむ者は活ながらふべし、  
 十三 義者の心は答ふべきことを考へ、  
 十四 惡者の口は惡を吐く、  
 十五 エホバは惡者に遠ざかり義者の祈禱をさくたまふ、  
 十六 目の光は心をよろこばせ、  
 十七 好音信は骨をうるほす、  
 十八 生命の誠命をさくところの耳は智慧ある者の中間に駐まる、  
 十九 敬をすつる者は自己の生命をかろんずるなり、  
 二十 懲治をさく者は聰明を得、  
 二十一 エホバを畏るとことは智慧の訓なり、  
 二十二 謙遜は尊貴に先だつ、

第十六章心に謀るところは人にあり、  
 舌の答はエホバより出づ、  
 二人の途はあのれのみ  
 目にことごとく潔しと見ゆ、  
 惟エホバ靈魂をはかりたまふ、  
 三 なんぢの作爲をエホバ

に託せよ、さらば汝の謀るところ必らず成べし、<sup>四</sup>エホバはすべての物をおの／＼その用のために造り、悪人をも悪き日のために造りたまへり<sup>五</sup>すべて心たかぶる者はエホバに悪まれ、手に手をあはするとも罪をまぬかれじ、<sup>六</sup>憐憫と眞實によりて愆は贖はる、エホバを畏るゝことによりて人悪を離る、<sup>七</sup>エホバもし人の途を喜はゞその人の敵をも之を和がしむべし、<sup>八</sup>義によりて得たるところの僅少なる物は不義によりて得たる多の資財にまさる、<sup>九</sup>人は心にちのれの途を考へはかる、されどその步履を導くものはエホバなり、<sup>十</sup>王のくちびるには神のさばさあり、審判するときはその口あやまる可らず、<sup>十一</sup>公平の權衡と天秤とはエホバのものなり、<sup>十二</sup>義にある砝碼もことごとく彼の造りしものなり、<sup>十三</sup>悪をおこなふことは王の憎むところなり、<sup>十四</sup>はその位を公義によりて堅く立ばなり、<sup>十五</sup>義しき口唇は王によるこぼる、<sup>十六</sup>彼等は正直をいふものを愛す、<sup>十七</sup>王の怒は死の使者のごとし、<sup>十八</sup>智慧ある人はこれをなだむ、<sup>十九</sup>王の面の光には生命あり、その恩寵は春雨の雲のごとし、<sup>二十</sup>智慧を得るは金をうるよりも更に善らずや聰明をうるは銀を得るよりも望まし、<sup>二十一</sup>悪と雜るゝは直き人の路なり、<sup>二十二</sup>おのれの道を

守るは靈魂を守るなり、<sup>二十三</sup>驕傲は滅亡にささだち、<sup>二十四</sup>誇る心は傾跌にささだつ<sup>二十五</sup>卑き者に交はりて謙だるは驕ぶる者と偕にありて賊物をわかつに愈る、<sup>二十六</sup>慎みて御言をおこなふ者は益をうべし、<sup>二十七</sup>エホバに倚頼むものは福ひなり、<sup>二十八</sup>心に智慧あれば哲者と稱へらる、<sup>二十九</sup>くちびる甘ければ人の知識をます、<sup>三十</sup>明哲はこれを持つものに生命の泉となる、<sup>三十一</sup>愚なる者をいましむる者はおのれの痴是なり、<sup>三十二</sup>智慧ある者の心はおのれの口をしへ、<sup>三十三</sup>又おのれの口唇に知識をます、<sup>三十四</sup>こころよき言は蜂蜜のごとくにして靈魂に甘く骨に良薬となる、<sup>三十五</sup>人の自から見て正しとする途にしてその終はつひに死にいたる途となるものあり、<sup>三十六</sup>勞をるものは飲食のために骨をる、<sup>三十七</sup>是の口のちのれに追ればなり<sup>三十八</sup>邪曲なる人は悪を堀る、その口唇には烈しき火のごときものあり、<sup>三十九</sup>いつはる者はあらずひを起し、つげぐちする者は朋友を離れしむ、<sup>四十</sup>強暴人はその隣をいざなひ之を善らざる途にみちびく<sup>四十一</sup>その目を閉て悪を謀り、その口唇を覺めて悪事を成遂ぐ、<sup>四十二</sup>白髪は榮の冠弁なり、<sup>四十三</sup>義しき途にてこれを見ん、<sup>四十四</sup>怒を遅くする者は勇士に愈り、<sup>四十五</sup>おのれの心を治むる者は城を攻取る者に愈る<sup>四十六</sup>人は籤をひく、されど事をさだむるは

第十七章陸じうして一塊の乾けるパンあるはあらそひありて宰れる畜の盈たる家に愈る、ニかしてき僕は恥をきたらす子ををさめ、且その子の兄弟の中において産業を分ち取る、三銀を試むる者は埒埒、金を試る者は鑑、人の心をこころむる者はエホバなり、四悪を行ふものは虚偽のくちびるにき、虚偽をいふ者はあしき舌に耳を傾ぶく、五貧人を嘲る者はその造主をあなどるなり、人の災禍を喜ぶものは罪をまぬかれず、六孫は老人の冠弁なり、父は子の榮なり、七勝れたる事をいふは愚なる人に適はず、況て虚偽をいふ口唇は君たる者に適はんや、八贈物はこれを受る者の目には貴き珠のごとし、その向ふところにて凡て幸福を買ふ九愛を追求むる者は人の過失をおほふ、人の事を言ふる者は朋友をあひ離れしむ、十一句の誠命の智人に徹るは百回掛つことの愚なる人に徹るよりも深し、十二叛きもどる者はたゞ悪きことのみをもとむ、此故に彼にむかひて残忍なる使者遣はさる、十三愚なる者の愚妄をなすにわはんよりは寧ろ子をとられたる牝熊にあへ、十三悪をもて善に報ゆる者は悪その家を離れじ、十四争端

の起源は堤より水をもらすに似たり、この故にあらそひの起らざる先にこれを止むべし、十五悪者を義とし義者を悪しとするこの二の者はエホバに憎まる、十六愚なる者はすてに心なし、何ぞ智慧をかはんとて手にその價の金をもつや、十七朋友はいづれの時にも愛す、兄弟は危難の時のために生る十八智慧なき人は手を拍てその友の前にて保證をなす、十九争端をこのむ者は罪を好み、その門を高くする者は敗壞を求む、二十邪曲なる心ある者はさいはひを得ず、その舌をみだりにする者はわざはひに陥る、三愚なる者を産むものは自己の愛を生じ愚なる者の父は喜樂を得ず、三心のたのしみは良薬なり靈魂のうれひは骨を枯す、三悪者は人の懐より賄賂をうけて審判の道をまぐ、二四智慧は哲者の面のまへにあり、されど愚なる者は目を地の極にそく、三五愚なるものは、その父の愛となり、亦これを生る母の煩勞となる、三六義者を罰するは善らず、貴き者をその義さがために扑は善らず、三七言を寡くする者は知識あり心の静なる者は哲人なり、三八愚なる者も黙するときは智慧ある者と思はれ、その口唇を閉るときは哲者ともはるべし

第十八章自己を人と異にする者はその欲するところのみを求めてすべての善を考察にもとる、<sup>一</sup> 恐なる者は明哲を善はず、惟その心の意を顯すことを喜ぶ、<sup>三</sup> 悪者きたれば藐視したがひてきたり、恥きたれば凌辱もともに來る、<sup>四</sup> 人の口の言は深水の如し、湧てながるゝ川、智慧の泉なり、<sup>五</sup> 悪者を偏視るは善らず、審判をなして義者を惡しとするも亦善らず、<sup>六</sup> 恐なる者の口唇はあらそひを起し、その口は打ること招く、<sup>七</sup> 恐なる者の口はあのをれの敗壞となりその口唇はあのをれの靈魂の罟となる、<sup>八</sup> 人の是非をいふもの言はたはむれのごとしといへども反つて腹の奥にいる、<sup>九</sup> その行爲をおこたる者は滅すもの兄弟なり、<sup>十</sup> エホバの名はかたき櫓のごとし、義者は之に走りいりて救を得、<sup>十一</sup> 富者の資財はその堅き城なり、これを高き石垣のごとくに思ふ、<sup>十二</sup> 人の心のたかふりは滅亡に先だち、謙遜はたふとまるゝ事にささだつ、<sup>十三</sup> いまた事をさかざるさきに應ふる者は愚にして辱をかうぶる、<sup>十四</sup> 人の心は尙其疾を忍ぶべし、されど心の傷める時は誰かこれに耐んや、<sup>十五</sup> 哲者の心は知識をえ、智慧ある者の耳は知識を求む、<sup>十六</sup> 人の贈物はその人のために道をひらき、かつ貴きものの前に

これを導く、<sup>十七</sup> 先に訴訟の理由をのぶるものは正義に似たれどもその隣人きたり詰問ひてその事を明かにす、<sup>十八</sup> 籤は争端をとどめ且つよきものゝ間にへだてとなる、<sup>十九</sup> 怒れる兄弟はかたき城にもまさりて説き伏せがたし、兄弟のあらそひは櫓の貫木のごとし、<sup>二十</sup> 人は口の徳によりて腹をあかし、その口唇の徳によりて自ら飽くべし、<sup>二十一</sup> 三死生は舌の權能にあり、これを愛する者はその果を食はん、<sup>二十二</sup> 妻を得るものは美物を得るなり、<sup>二十三</sup> エホバより恩寵をあたへらる、<sup>二十四</sup> 貧者は哀なる言をもて乞ひ、富人は厲しき答をなす、<sup>二十五</sup> 多の友をまうくる人は遂にその身を亡す、但し兄弟よりもたのもしき知己もまたあり

第十九章たゞしく歩まずしき者はくちびるの悖れる愚なる者に愈る、<sup>一</sup> 心に思慮なければ善らず、足にて急ぐものは道にまよふ、<sup>二</sup> 人はあのをれの痴によりて道につまづき、<sup>三</sup> 反て心にエホバを怨む、<sup>四</sup> 資財はおほくの友をあつむ、されど貧者はその友に疎まる、<sup>五</sup> 虚偽の證人は罰をまぬかれず、謊言をはくものは避るゝことをえず、<sup>六</sup> 君に媚る者はおほし凡そ人は贈物をあたふる者の友となるなり、<sup>七</sup> 貧者はその兄弟すらも

皆これをにくむ、况てその友これに遠ざからざらんや言をはなちてこれを呼とも去てかへらざるなり、八 智慧を得る者はそのの靈魂を愛す、聰明をたもつ者は善福を得ん、九 虚偽の證人は罰をまぬかれず、謊言をばく者はほろぶべし、十 愚なる者の驕奢に居るは適當からず、况て僕にして上に在る者を治ることをや、十一 聰明は人に怒をしのばしむ、過失を宥すは人の榮譽なり、十二 王の怒は獅の吼るが如くその恩典は草の上におく露のごとし、十三 愚なる子はその父の災禍なり、妻の相争そふは雨漏のたへぬにひとし、十四 家と資財とは先祖より承嗣ぐもの、賢妻はエホバより賜ふものなり、十五 懶惰は人を酷寐せしむ、懈怠人は飢べし、十六 誠命を守るものは自己の靈魂を守るなり、その道をかろむるものは死ぬべし、十七 貧者をあはれむ者はエホバに貸すなり、その施濟はエホバ償ひたまはん、十八 望ある間に汝の子を打て、これを殺すころを起すなかれ、十九 怒ることの烈しき者は罰をうく、汝もしこれを救ふともしば、然せざるを得じ、二十 なんぢ勸をさし訓をうけよ、然ばなんぢの終に智慧あらん、三人の心には多くの計畫ありされど唯エホバの旨のみ立べし、三三人のよろこびは施濟をするにあり、貧者は謊人

に愈る、三 エホバを畏るゝことは人をして生命にいたらしめ、かつ恒に飽足て災禍に遇ざらしむ、四 惰者はその手を盤にいるゝも之をその口に擧ることをだにせず、五 嘲笑者を打て、さらば拙者を愼まん、哲者を誦めよ、さらばかれ知識を得ん、六 父を煩はし母を逐ふは羞赧をさらし凌辱をまねく子なり、七 わが子よ哲言を離れしむる教を聴くことを息よ、八 悪き證人は審判を嘲けり、悪者の口は惡を呑む、九 審判は嘲笑者のために備へられ、鞭は愚なる者の背のために備へらる、二十章 酒は人をして嘲らせ、濃酒は人をして騒がしむ、之に迷はざるゝ者は無智なり、二 王の震怒は獅の吼るがごとし、彼を怒らす者は自己のいのちを害ふ、穩かに居て争をはざるは人の榮譽なり、すべて愚なる者は怒り争ふ、四 惰者は寒ければとて耕さずこの故に收穫のときにおよびて求るとも得るところなし、五 人の心にある謀計は深き井の水のごとし然れど哲人はこれを汲出す、六 凡人は各自おのれの善を誇る、されど誰か忠信なる者に遇しど、七 身を正くして步履む義人はその後の子孫に福祉あるべし、八 審判の位に坐する王はその目をもてすべての惡を散らす、九 たれか我

わが心をさよめ、わが罪を潔められたりといひ得るや、十二種の權衡二種の斗量は等しくエホバに憎まる、十二幼子といへどもその動作によりておのれの根性の清さか或は正さかをあらはす、十三聽とこの耳と視るところの眼とはともにエホバの造りたまへるものなり、十四なんぢ睡眠を愛すること勿れ、恐らくは貧窮にいたらん、汝の眼をひらけ、然らば糧に飽べし、十五買者はいふ惡し惡しと、然れど去て後はみづから誇る、十五金もあり眞珠も多くあれど貴き器は知識のくちびるなり、十六人の保證をなす者よりは先その衣をとれ、他人の保證をなす者をばかたくらへよ、十七欺むきとりし糧は人に甜し、されど後にはその口に沙を充たされん、十八謀計は相議るによりて成る、戦はんとせば先よく議るべし、十九あるきめぐりて人の是非をいふ者は密事をもらす、口唇をひらきてあるくものと交ること勿れ、二十おのれの父母を罵るものはその燈火くらやみの中に消ゆべし、三初に俄に得たる産業はその終さいはひならず、三三われ惡に報いんと言ふこと勿れ、エホバを待て、彼なんぢを救はん、三三二種の磁碼はエホバに憎まる、虚偽の權衡は善らず、三百人の步履はエホバによる、人いかて自らその道を明かに

せんや、三五漫に誓願をたつことは其人の罣となる、誓願をたてゝのちに考ふることも亦然り、賢き王は箕をもて簸るごとく惡人を散し、車輪をもて碾すごとく之を罰す三七人の靈魂はエホバの燈火にして人の心の奥を窺ふ、三九王は仁慈と眞實をもて自らたもつ、その位もまた恩惠のおこなひによりて堅くなる、三九少者の榮はその力、おいたる者の美しさは白髪なり、三九傷つくまでに打たば惡きところさよまり、打る鞭は腹の底までもとほる

第二十一章王の心はエホバの手の中にありて恰かも水の流れのごとし、彼その聖旨のままに之を導きたまふ、二人の道はおのれの目に正しとみゆ、されどエホバは人の心をはかりたまふ、三正義と公平を行ふは犠牲よりも愈りてエホバに悦ばる、四高ぶる目と驕る心とは惡人の光にしてたゞ罪のみ、五勤めはたらく者の圖るところは遂にその身を、豊裕ならしめ、凡てさわがしく急ぐ者は貧乏をいたす、六虚偽の舌をもて財を得るは吹はらはるゝ雲烟のごとし、之を求る者は死を求むるなり、七惡者の殘虐は自己を亡ぼす、これ義を行ふことを好まざればなり、八罪人の道は曲り、潔者の行

爲は直し、九 相争ふ婦と偕に室に居らんよりは屋蓋の隅にをるはよし、十 悪者の靈魂は悪をねがふ、その隣も彼にあはれみ見られず、十一 あざけるもの罰をうくれば拙者は智慧を得、ちいあるもの教をうくれば知識を得、十二 義しき神は悪者の家のみとめて悪者を滅亡に投いたまふ、十三 耳を掩ひて貧者の呼ぶ聲をさかざる者はおのれ自ら呼とさもまた聴れざるべし、十四 潜なる饋物は忿恨をなだめ、懐中の賄賂は烈しき瞋恚をやはらぐ、十五 公義を行ふことは義者の喜樂にして悪を行ふものは敗壞なり、十六 ごとりの道を離るゝ人は死し者の集會の中にをらん、十七 宴樂を好むものは貧人となり酒と膏とを好むものは富をいたさじ、十八 悪者は義者のあがなひとなり、悻れる者は直き者に代る、十九 争ひ怒る婦と偕にをらんよりは荒野に居るはよし、二十 智慧ある者の家には貴き資と膏とあり、愚なる人は之を吞つくす、三 正義と憐憫とを追求むる者は生命と正義と尊貴とを得べし、三 智慧ある者は強者の城にのぼりて、その堅く頼むところを倒す、三 口と舌とを守る者はその靈魂を守りて患難に遇せじ、三 高ぶり驕る者を嘲笑者となづく、これ驕奢を逞しくして行ふものなり、三 憎者の情欲はおのれの身を殺す、

是はその手を肯て働かせざればなり、二 人は終日まきりに慾を圖る、されど義者は與へて吝まず、三 悪者の獻者は憎まる况て悪き事のために獻ぐる者をや、三 虚偽の證人は滅ざる、然れど聴く人は恒にいふべし、三 悪人はその面を厚くし、義者はその道を謹む、三 エホバにむかひては智慧も明略も謀略もなすところなり、三 戦闘の日のために馬を備ふされど勝利はエホバによる。

第二十二章 嘉々は大きな富にまきり、恩寵は銀また金よりも佳し、二 富者と貧者と偕に世にをる、凡て之を造りし者はエホバなり、三 賢者は災禍を見てみづから避け、拙者はすくみて罰をうく、四 謙遜とエホバを畏るゝ事との報は富と尊貴と生命となり、五 悻れる者の途には荆棘と罟とあり、靈魂を守る者は遠くこれを離れん、六 子をその道に従ひて教へよ、然ばその老たる時も之を離れじ、七 富者は貧者を治め、借者は貸人の僕となる、八 悪を播くものは禍害を穢り、その怒の杖は廢るべし、九 人を見て恵む者はまた恵まる、此はその糧を貧者に與ふればなり、十 嘲笑者を逐ば争論も亦さり且鬭諍も恥辱もやむ、十一 心の潔さを愛する者はその口唇に憐憫をもてり、王その友とな

らん、<sup>十二</sup>エホバの目は智識ある者を守る、彼は忤れる者の言を敗りたまふ、<sup>十三</sup>情者はいふ獅そとにあり、われ衝にて殺されんと、<sup>十四</sup>妓婦の口は深き坑なり、エホバに憎まる者これに陥らん、<sup>十五</sup>痴なること子の心の中に繋がる、懲治の鞭これを逐いだす、<sup>十六</sup>貧者を虐げて自らを富さんとする者と富者に與ふる者とは遂にかならず貧くなる、<sup>十七</sup>汝の耳を傾ふけて智慧ある者の言をき、且なんぢの心をわが知識に用よ、<sup>十八</sup>之を汝の腹にたもちて盡くなんぢの口唇にそなはらまれば樂しかるべし、<sup>十九</sup>汝をしてエホバに倚頼まよめんが爲にわれ今日これを汝に教ふ、<sup>二十</sup>われ勸言と知識とをふくみたる勝れし言を汝のために録し、にあらすや、<sup>二十一</sup>これ汝をして眞の言の確實なるを曉らしめ且なんぢを遣はし、者に眞の言を持歸らしめん爲なり、<sup>二十二</sup>弱き者を弱がために掠むることなかれ、艱難者を門にて壓つくること勿れ、<sup>二十三</sup>そはエホバその訴を糺し、且かれらを害なふもの、生命をそこなはん、<sup>二十四</sup>怒る者と交ること勿れ、憤ぼる人とも、に往ることなかれ、<sup>二十五</sup>恐らくは汝その道に效ひてみづから罟に陥らん、<sup>二十六</sup>なんぢ人と手をうつ者となることなかれ、人の負債の保證をなすこと勿れ、<sup>二十七</sup>汝もし償ふべきものあらずば人な

んぢの下なる臥牀までも奪取ん、<sup>二十八</sup>是豈よからんや、<sup>二十九</sup>なんぢの先祖がたてし古き地界を移すこと勿れ、<sup>三十</sup>汝その業に巧なる人を見るか、斯る人は王の前に立ん、かならず賤者の前にたゝじ

**第二十三章**なんぢ侯たる者とも、に坐して食ふときは慎みて汝の前にある者の誰なるかを思へ、<sup>一</sup>汝もし食を嗜む者ならば汝の喉に刀をあてよ、<sup>二</sup>その珍饈を貪り食ふこと勿れ、これ迷惑の食物なればなり、<sup>三</sup>富を得んと思煩らうこと勿れ、自己の明哲を恃むこと勿れ、<sup>四</sup>なんぢ虚きに歸すべき者に目をとむるか、富はかならず自ら翅を生じて鷹のごとく天に飛さらん、<sup>五</sup>悪目をする者の糧をくらふことなく、その珍饈をむさぼりねがふことなかれ、<sup>六</sup>そはその心に思ふごとくその人となりも亦すかればなり、<sup>七</sup>彼なんぢに食へ飲めといふといへどもその心は汝に眞實ならず、<sup>八</sup>汝つひにその食へる物を吐出すにいたり且その出し、懇懃の言もむなしくならん、<sup>九</sup>愚なる者の耳に語ること勿れ、<sup>十</sup>彼なんぢが言の示す明哲を藐めん、<sup>十一</sup>古き地界を移すことなかれ、<sup>十二</sup>孤子の畑を侵すことなかれ、<sup>十三</sup>そはかれが贖者は強し、<sup>十四</sup>必ず汝に對らひて之が訴をのべん、<sup>十五</sup>汝の心を教に用



汝の耳を知識の言に傾けよ、子を懲すことを爲さるなかれ、鞭をもて彼を打とも死ることあらじ、もし鞭をもて彼をうたばその靈魂を陰府より救ふことをえん、十五わが子よ、もし汝のこころ智からば我が心もまた歡び、十六もし汝の口唇たゞしき事をいはば我が賢腸も喜ぶべし、十七なんぢ心に罪人をうらやむ勿れ、たゞ終日エホバを畏れよ、十八そは必ず應報ありて汝の望は廢らざればなり、十九わが子よ、汝さして智慧をえ、かつ汝の心を通にかたふけよ、二十酒にふけり、肉をたしむものと交ること勿れ、二十一それ酒にふける者と肉を嗜む者とは貧くなり、睡眠を貪ぼる者は敝れたる衣をさるにいたらん、二十二汝を生る父にさけ、汝の老たる母を輕んずる勿れ、二十三眞理を買これるを售るなかれ、智慧と誠命と知識とまた然あれ、二十四義者の父は大によろこび、智慧ある子を生る者はこれがために樂しまん、二十五汝の父母を樂ませ、汝を生る者を喜ばせよ、二十六わが子よ、汝の心を我にあたへ汝の目にわが途を樂しめ、二十七それ妓婦は深き坑のごとく、淫婦は狭き井のごとし、二十八彼は盜賊のごとく人を窺ひかつ世の人の中に悖れる者を増なり、二十九禍害ある者は誰ぞ、憂愁ある者は誰ぞ、争端をなす者は誰ぞ、煩慮ある者は誰ぞ、故なくして傷をうくる者は

誰ぞ、赤目ある者は誰ぞ、三十是すなはち酒に夜をふかすもの、往て混和せたる酒を味ふる者なり、三十一酒はあかく、盃の中に泡だち、滑かにくだる、汝これを見るなかれ、三十二是は終に蛇のごとく噬み、蝮の如く刺すべし、三十三また汝の目は怪しきものを見なんぢの心は詭言をいはん、三十四汝は海のなかに偃すもの、ごとき帆桅の上に偃すもの、三十五汝いはん人われを撃ども我いたます、我を擗けども我おぼえず、我さめなばまた酒を求めんと

●第二十四章なんぢ惡き人を羨むことなかれ、又これと偕に居んことを願ふなかれ、一はその心に暴虐をはかり、その口唇に人を害ふことをいへばなり、二家は智慧によりて建られ、明哲によりて堅くせられ、三また室は智慧によりて各種の貴く美しき寶にて充たされん、四智慧ある者は強し、五智慧ある人は力をます、六汝よ謀計をもて戦闘をなせ、勝利は議者の多きによる、七智慧は高くして恐なる者の及ぶところにあらず、八恐なる者は門にて口を啓くことをえず、九惡をなさんと謀る者を邪曲なる者と稱ふ、十恐なる者は謀るところは罪なり、十一嘲笑者は人に憎まる、十二汝もし患難の日に氣を挫かば汝の力は弱

し、なんち死地に曳れゆく者を拯へ、滅亡によるめきゆく者をすくはざる勿れ、<sup>十二</sup>汝われら之を知らずといふとも心をはかる者これに曉らざらんや、<sup>十三</sup>汝の靈魂をまもる者これを知らざらんや、<sup>十四</sup>彼はちのくの行爲によりて人に報ゆべし、<sup>十五</sup>わが子よ蜜を食へ、<sup>十六</sup>是は美ものなり、<sup>十七</sup>また蜂のすの滴瀝を食へ、<sup>十八</sup>是はなんちの口に甘し、<sup>十九</sup>智慧の汝の靈魂におけるも是の如しと知れ、<sup>二十</sup>これを得ばかならず報いありて汝の望すたれじ、<sup>二十一</sup>悪者よ義者の家を窺ふことなかれ、<sup>二十二</sup>その安居所を攻ること勿れ、<sup>二十三</sup>そは義者は七次たふるゝともまた起く、<sup>二十四</sup>されど悪者は禍災によりて亡ぶ、<sup>二十五</sup>汝の仇たふるゝとき樂しむこと勿れ、<sup>二十六</sup>彼の亡ぶるときころに喜ぶことなかれ、<sup>二十七</sup>恐らくはエホバこれを見て惡しとしその震怒を彼より隠れしめたまはん、<sup>二十八</sup>なんち悪者を怒ることなかれ、<sup>二十九</sup>邪曲なる者を羨むなかれ、<sup>三十</sup>それ悪者には後の善賞なし、<sup>三十一</sup>邪曲なる者の燈火は滅されん、<sup>三十二</sup>わが子よエホバと王とを畏れよ、<sup>三十三</sup>叛逆者に交ること勿れ、<sup>三十四</sup>斯るものらの災禍は速におこる、<sup>三十五</sup>この兩者の滅亡はたれか知えんや、<sup>三十六</sup>是等もまた智慧ある者の箴言なり、<sup>三十七</sup>偏りて鞠するは善らず、<sup>三十八</sup>罪人に告て汝は義しといふものをば衆人これを詛ひ諸民これを惡まん、<sup>三十九</sup>これを誣る者は恩

をえん、<sup>四十</sup>また福祉これにきたるべし、<sup>四十一</sup>ほどよき應答をなす者は口唇に接吻するなり、<sup>四十二</sup>外にて汝の工をとのへ田圃にてこれを自己のためにそなへ然るのち汝の家を建よ、<sup>四十三</sup>故なく汝の隣に敵して證することなかれ、<sup>四十四</sup>汝なんぞ口唇をもて欺くべけんや、<sup>四十五</sup>彼の我に爲し、<sup>四十六</sup>如く我も亦かれになすべし、<sup>四十七</sup>われ人の爲しとところに循ひてこれに報いんといふと勿れ、<sup>四十八</sup>三われ曾て憎人の田圃と智慧なき人の葡萄園とをすぎて見しに、<sup>四十九</sup>荆棘あまねく生え、<sup>五十</sup>蒺藜その地面を掩ひその石垣くづれいたり、<sup>五十一</sup>我これをみて心をとめ、<sup>五十二</sup>これを觀て教をえたり、<sup>五十三</sup>しばらく臥し暫らく睦り手を又さて又しばらく休む、<sup>五十四</sup>言さらば汝の貧窮は盗人のごとく、<sup>五十五</sup>汝の缺乏は兵士の如くきたるべし

**第二十五章** 此等もまたソロモンの箴言なり、<sup>一</sup>ユダの王ヒゼキヤに屬せる人々これを輯めたり、<sup>二</sup>事を隠すは神の榮譽なり事を窮むるは王の榮譽なり、<sup>三</sup>天の高さと地の深さと王たる者の心とは測るべからず、<sup>四</sup>銀より渣滓を除け、<sup>五</sup>さらば銀工の用ゐべき器いでん、<sup>六</sup>王の前より悪者をのぞけ、<sup>七</sup>然ばその位義によりて堅く立ん、<sup>八</sup>王の前に自ら高ぶることなかれ、<sup>九</sup>貴人の場に立つことなかれ、<sup>十</sup>なんちが目に見る王の前にて下

にさげらるゝよりはこゝに上れといはるゝこと愈れりハ汝かるくして出て争ふこと  
 なかれ、恐くは終にいたりて汝の隣に辱しめられん、その時なんぢ如何になさんとす  
 るか、九なんぢ隣と争ふことあらば只これと争へ、人の密事を洩すなかれ、恐らくは  
 聞者なんぢを卑しめん、汝をしられて止ざらん、十二機にかないて語る言は銀の彫刻物に  
 金の林檎を嵌たるが如し、十三智慧をもて謎むる者の之をさく者の耳におけることは金  
 の耳環と精金の飾のごとし、十三忠信なる使者は之を遺す者におけること稽収の日に冷  
 かなる雪あるがごとし、能その主の心を善ばしむ、十四おくりものすと偽りて誘ふ人は  
 雨なき雲風の如し、十五怒を緩くすれば君も言を容る、柔かなる舌は骨を折く、十六なん  
 ぢ蜜を得るか、惟これを足る程に食へ、恐らくは食ひ過して之を吐出さん、十七なんぢ  
 の足を隣の家にしげくするなかれ、恐らくは彼なんぢと厭ひ悪まん、十八その隣に敵し  
 て虚偽の證をたつる人は斧刃または利き箭のごとし、十九艱難に遇ふとき忠實ならぬ者を  
 頼むは悪き齒または跛たる足を恃むがごとし、二十心の傷める人の前に歌をうたふは寒  
 き日に衣をぬぐが如く、曹達のうへに酢を注ぐが如し、三なんぢの仇もし飢なば之に

糧をくらわせ、もし渴かば之に水を飲ませよ、三なんぢ斯するは火をこれが首に積むな  
 り、エホバなんぢに報いたまふべし、三北風は雨をおこし、かげごとをいふ舌は人の  
 顔をいからす、三争ふ婦と借に室に居らんより屋蓋の隅にあるは宜し、三五遠き國より  
 きたる好き消息は渴きたる人における冷かなる水のごとし、三義者の悪者の前に服す  
 るは井の濁れるがごとく泉の汚れたるがごとし、三七蜜をおほく食ふは善らず、人おの  
 れの榮譽をもとむるは榮譽にあらず、三八おのれの心を制へざる人は石垣なき壊れたる  
 城のごとし

第二十六章榮譽の愚なる者に適わざるは夏の時に雪ふり、稽収の時に雨ふるがごとし  
 二 故なき詛は雀の翔り燕の飛ぶが如くにきたるものにあらず、三馬の爲には策あり、  
 驢馬の爲には銜あり、愚なる者の背のために杖あり、四 愚なる者の痴にしたがひて答  
 へること勿れ、恐らくはおのれも是と同じからん、五 愚なる者の痴にしたがひて之に  
 答へよ、恐らくは彼おのれの目に自らを智者と見ん、六 愚なる者に托して事を言おくる  
 者はおのれの足をさり身に害をうく、七 跛者の足は用なし、愚なる者の口の箴もかく

のごとし、ハ榮譽を思はる者に與るは石を投石索に繋ぐが如し、九 恐なる者の口にたもつ箴言は酔るものと刺ある杖を手にて擧るがごとし、十 愚なる者を備ひ、流浪者を備ふ者はすべての人を傷くる射者の如し、十一 狗のかへり來りてその吐たる物を食ふがごとく愚なる者は重ねてその痴なる事をおこなふ、十二 汝おのれの目に自らを智慧ある者とする人を見らるか、彼よりも却て愚なる人に望あり、十三 情者は途に獅あり、衝に獅ありといふ、十四 戸の蝶鉸によりて轉るごとく情者はその牀に輾轉す、十五 情者はその手を盤に在る人も之をその口に擧ることを厭ふ、十六 情者はおのれの目に自らを、善く答ふる七人の者よりも智慧ありとなす、十七 路をよぎり自己に關りなき争擾にたづさはる者は狗の耳をとらふる者のごとし、十八 既にその隣を欺くことをなして我はたど戯れしのみといふ者は火箭または鎗または死を擲つ狂人のごとし、十九 薪なければ火はさえ、人の是非をいふ者なければ争端はやむ、二十 煨火に炭をつぐ火に薪をくぶるがごとく争端を好む人は争端を起す、二十一 人の是非をいふものと言はたはぶれのごとしと雖もかへつて腹の奥に入る、二十二 温かき口唇をもちて悪き心あるは銀の滓をさせたる瓦片のごとし、

三 恨むる者は口唇をもて自ら飾れども心の裏には虚偽をいなく、四 彼その聲を和らかにするとも之を信するなかれ、その心に七の憎むべき者あればなり、五 たとひ虚偽をもてその頼をかくすともその悪は會集の中に顯はる、六 坑を堀るものは自ら之に陥らん、七 石を轉しあぐる者の上にはその石まろびかへらん、八 虚偽の舌はおのれの害す者を憎み、九 誂ふ口は滅亡をきたらす

第二十七章なんぢ明日のことを誇るなかれ、そは一日の生ずるところの如何なるを知らざればなり、一 汝おのれの口をもて自から讃ることなく、人をして己をほめしめよ、二 自己の口唇をもてせず、他人をして己をほめしめよ、三 石は重く、沙は軽かかず、然ど恐なる者の怒はこの二よりも重し、四 忿怒は猛く憤恨は烈し、されど嫉妬の前には誰か立ことをせん、五 明白に譴むるは秘に愛するに愈る、六 愛する者の傷つくるは眞實よりし、敵の接吻するは偽作よりするなり、七 飽るものは蜂の蜜をも踐つく、されど飢たる者には苦き物さへもすべて甘し、八 その家を離れてさまよふ人はその巢を離れてさまよふ鳥のごとし、九 膏と香とは人の心をよろこばすなり、心よりして勸言を與

ふる友の美しきもまた斯のごとし、<sup>一</sup>なんぢの友と汝の父の友とを棄るなかれ、<sup>二</sup>なんぢ患難にあふ日に兄弟の家にいることなかれ、<sup>三</sup>親しき隣は疏き兄弟に愈れり、<sup>四</sup>わが子よ智慧を得てわが心を悦ばせよ、<sup>五</sup>然ば我をそしる者に我こたうることを得ん、<sup>六</sup>賢者は禍害を見てみづから避け、<sup>七</sup>拙者はすゝみて罰をうく、<sup>八</sup>三人の保證をなす者よりは先その衣をとれ、<sup>九</sup>他人の保證をなす者をば固くこらへよ、<sup>十</sup>晨はやく起て大聲にその隣を祝すれば却て呪詛と見なされん、<sup>十一</sup>相争ふ婦は雨ふる日に絶ずある雨漏のごとし、<sup>十二</sup>これを制ふるものは風をおさふるがごとく、<sup>十三</sup>右の手に膏をつかむがごとし、<sup>十四</sup>鐵は鐵をとぐ、<sup>十五</sup>斯の如くその友の面を研なり、<sup>十六</sup>無花果の樹をまゐる者はその果をくらふ、<sup>十七</sup>主を貴ぶものは譽を得、<sup>十八</sup>水に照せば面と面と相肖るがごとく、<sup>十九</sup>人の心は人の心に似たり、<sup>二十</sup>陰府と沈淪とは飽ことなく、<sup>二十一</sup>人の目もまた飽くことなし、<sup>二十二</sup>垣塙によりて銀をためし、<sup>二十三</sup>鍾によりて金をためし、<sup>二十四</sup>その讀らるゝ所によりて人をためす、<sup>二十五</sup>なんぢ愚なる者を白にいれ杵をもて麥と偕にこれを搗ともその愚は去らざるなり、<sup>二十六</sup>○<sup>二十七</sup>なんぢの羊の状況をよく知り、<sup>二十八</sup>なんぢの群に心を留めよ、<sup>二十九</sup>富は永く保つものにあらずいかて位は

世々にたもたん、<sup>一</sup>艸枯れ苗いで山の蔬菜つめらる、<sup>二</sup>羔羊はなんぢの衣服を出し、<sup>三</sup>牡羊は田圃を買ふ價となり、<sup>四</sup>牝羊の乳はおほくして汝となんぢの家人の糧となり、<sup>五</sup>汝の女をやしなふにたる

第二十八章 惡者は逐ふ者なけれども逃げ義者は獅子のごとくに勇まし、<sup>一</sup>國の罪によりて侯伯多くなり、<sup>二</sup>智くして知識ある人によりて國は長く保つ、<sup>三</sup>弱者を虐ぐる貧人は糧をのこさざる暴まき雨のごとし、<sup>四</sup>律法を棄るものは惡者をほめ、<sup>五</sup>律法を守る者はこれに敵す、<sup>六</sup>惡人は義ごとを覺らず、<sup>七</sup>エホバを求る者は凡の事をさとる、<sup>八</sup>義しくあゆむ貧者は曲れる路をあゆむ富者に愈る、<sup>九</sup>律法を守る者は智子なり、<sup>十</sup>放蕩なる者に交るものは父を辱かしむ、<sup>十一</sup>利息と高利とをもてその財産を増すものは貧人をめぐる者のために之をたくはふるなり、<sup>十二</sup>耳をそむけて律法を聞ざる者はその祈すらも憎まる、<sup>十三</sup>義者を惡き道に惑はす者はみづから自己の阱に陥らん、<sup>十四</sup>されど質直なる者は福祉をつぐべし、<sup>十五</sup>富者はおのれの目に自らを知慧ある者となす、<sup>十六</sup>されど聰明ある貧者は彼をはかり知る、<sup>十七</sup>義者の喜ぶときは大なる榮あり、<sup>十八</sup>惡者の起るときは民身

を匿す、十三その罪を隠すものは榮ゆることなし、されど認らはして之を離るる者は憐憫をうけん、十四恒に畏るる人は幸福なり、その心を剛愎にする者は災福に陥るべし、十五貧しき民を治むるあしき侯伯は吼る獅子あるひは飢たる熊のごとし、十六智からざる君はちほく暴虐をおこなふ、不義の利を惡む者は遐齡をうべし、十七人を殺してその血を心に負ふ者は墓に奔るなり、人これを阻むること勿れ、十八義く行む者は救をえ、曲れる路に行む者は直に跌れん、十九ちのれの田地を耕す者は糧にあき、放蕩なる者に從ふものは貧乏に飽く、二十忠信なる人はちほくの幸福をえ、速かに富を得んとする者は罪を免れず、三人を偏視るはよからず、人はたご一片のパンのために愆を犯すなり、三惡目をもつ者は財をえんとて急がはしく、却て貧窮のものに來るを知らず、三人を譴むる者は舌をもて誚ふ者よりも大なる感謝をうく、四父母の物を竊みて罪ならずといふ者は滅す者の友なり、五心に貪る者は争端を起しエホバに倚頼むものは豊饒になるべし、六あのれの心を持つ者は恐なり、知慧をもて行む者は救をえん、七貧者に賙すものは乏しからず、その目を掩ふ者は詛を受ること多し、八惡者の起るときは人

匿れ、その滅るときは義者す

第二十九章まばく責られてもなほ強項なる者は救はるることなくして猝然に滅されん、二義者ませば民よろこび、惡きもの權を掌らば民かなしむ、三智慧を愛する人はその父を悦ばせ妓婦に交る者はその財産を費す、四王は公義をもて國を堅うす、されど租税を征收る者はこれを滅ぼす、五その隣に誚らふ者はかれの脚の前に羅を張る、六惡き人の罪の中には罟あり、然ど義者は歡び樂しむ、七義きものは貧きものと訟をかへりみる、然ど惡人は之を知ること願はず、八嘲笑人は城邑を擾し、智慧ある者は怒をまつむ、九智慧ある人あるかなる人と争へば或は怒り或は笑ひて休むことなし、十血をながす人は直き人を惡む、されど義き者はその生命を救はんことを求む、十一愚なる者はその怒をことごとく露はし、智慧ある者は之を心に藏む、十二君王もし虚偽の言を聽ばその臣みな惡し、十三貧者と苛酷者と偕に世にをる、エホバは彼等の目に光をあたへたまふ、十四眞實をもて弱者を審判する王はその位つねに堅く立つべし、十五鞭と譴責とは智慧をあたまふ、任意になしちかれたる子はその母を辱しむ、十六惡きもの多け

れば罪も亦おほし、義者は彼等の傾覆をみん〇七なんちの子を懲せ、さらば彼なんちを安からしめ、又なんちの心に喜樂を興へん、六黙示なければ民は放肆にす、律法を守りものは福ひなり、九僕は言をもて譴むるとも改めず、彼は知ども従はざればなり  
 二なんち言を謹まざる人を見しや、彼よりは却て愚なる者に望あり、三僕をその幼なき時より柔かに育てなば終には子の如くならしめん、三怒る人は争端を起し、憤ほる人は罪おほし、三人の傲慢はちのれを卑くし、心に謙だる者は榮譽を得、三盗人に黨する者はちのれの靈魂を惡むなり、彼は誓を聽けども説述す、三五人を畏るれば罪におちいる、エホバをたのむ者は護られん、三六君の慈悲を求る者はおほし、然れど人の事を定むるはエホバによる、三七不義をなす人は義者の惡むところ、義くあゆむ人は惡者の惡むところなり

第三十章ヤケの子アグルの語なる箴言、かれイテエルにむかひて之をいへり、即ちイテエルとウカルといへる所のものなり、二我は人よりも愚なり、我には人の聰明あらず三我いまだ知慧をならひ得ず、またいまだ至聖ものを曉ることをえず、四天に昇

りまた降りし者は誰か風をその掌中に聚めし者は誰か水を衣につくみし者は誰か、地のすべての限界を定めし者は誰か、その名は何ぞ、その子の名は何ぞ、汝これを知るや〇五神の言はみな潔よし、神は彼を頼むものゝ盾なり、六汝その言に加ふること勿れ、恐くは彼なんちをせめ、又なんちを誑る者となしたまはん〇七われ二の事をなんぢに求めたり、我が死ざる先にこれをたまへ八即ち虚假と謊言とを我より離れしめ、我をまて貪からまめずまた富しめず惟なくてはならぬ糧をあたへ給へ九そは我あきて神を知らずといひエホバは誰なりやといはんことを恐れ、また貪くして竊盜をなし我が神の名を汚さんことを恐るればなり〇十なんち僕をその主に譏ることなかれ、恐くは彼なんちを誑ひてなんち罪せられん〇十一その父を誑ひその母を祝せざる世類あり十二ちのれの目に自からを潔者となして尙その汚穢を滌はれざる世類あり十三また一の世類あり鳴呼その眼はいかに高きぞや、その臉は昂れり十四その齒は劍のごとく、その牙は刃のごとき世類あり、彼等は貧乏者を地より呑み、窮乏者を人の中より食ふ、〇十五蛭に二人の女あり、與へよくと呼はる、飽ことを知ざるもの三あり、否な四あり皆たれり

といはず、即ち陰府姪まざる胎、水に満されざる地、足りといはざる火これなり、○  
 まちのれの父を嘲り母に従ふことをいやしとする眼は谷の鴉これを抜いだし、鶯の雛  
 これを食はん○十八わが奇とするもの三あり、否な四あり共にわが識ざる者なり、十九即ち  
 空にとぶ鶯の路、磐の上にはふ蛇の路、海にはしる舟の路、男の女にあふの路これな  
 り、二十淫婦の途も亦しかり、彼は食ひてその口を拭ひ、われ悪きことを爲さざりといふ  
 ○三地は三の者によりて震ふ、否な四の者によりて耐ることあたはざるなり、即ち僕  
 たるもの王となるに因り、愚なるもの糧に飽るにより、三厭忌はれたる婦の嫁ぐによ  
 り、婢女その主母に續に因りてなり○二地に四の物あり、微小といへども最智し、三蟻  
 は力なき者なれどもその糧を夏のうちに備ふ、三山鼠は強からざれどもその宮を磐につ  
 くる、三蝗は王なけれどもみな隊を立て、三守宮は手をもてつかまり王の宮にをる○  
 三善めゆむもの三あり、否な四あり皆よく歩く、三獸の中にて最も強くもろくのもの  
 と前より退かざる獅子、三肚帯せし戰馬、牡野羊、ちよび當ること能はざる王これなり  
 ○三汝もし愚にして自から高ぶり或は悪きことを計らば汝の手を口に當べし、三それ乳  
 を搾れば乾酪いて、鼻を搾れば血いて、怒を激ふれば争端おこる

を搾れば乾酪いて、鼻を搾れば血いて、怒を激ふれば争端おこる

第三十一章レムエル王のことは即ちその母の彼に教へし箴言なり、二わが子よ何を言  
 んか、わが胎の子よ何をいはんか我が願ひて得たる子よ何をいはんか、三なんぢの力を  
 女についやすなかれ、王を滅すものに汝の途をまかす勿れ、四レムエルよ酒を飲は  
 王の爲べき事に非ず、王の爲べき事にあらず、醇醪を求るは牧伯の爲すべき事にあら  
 ず、五恐らくは酒を飲て律法をわすれ、且すべて惱まざる者、六審判を枉げん、七醇醪  
 を亡びんとする者にあたへ、酒を心の傷める者にあたへよ、七かれ飲てその貧窮をわす  
 れ、復その苦楚を憶はざるべし、八なんぢ瘡者のため又すべての孤者の認のために口を  
 ひらけ、九なんぢ口をひらきて義と審判をなし、貧者と窮乏者の認を糺せ○十誰が賢き  
 女を見出すことを得ん、その價は眞珠よりも貴とし、十一その夫の心はかれを好み、そ  
 の産業は乏しくならじ、十二なれが存命ふる間はその夫に善事をして悪き事をなさず、十三  
 彼は羊の毛と麻とを求め、喜びて手から操さ、十四商賈の舟のごとく遠き國よりその糧を  
 運び、十五夜のあけぬ先に起てその家人に糧をあたへ、その婢女に日用の分をあたふ、十六田



畝をはかりて之を買ひその手の操作をもて葡萄園を植ゑ力をもて腰に帯し、その手を強くす十八彼はその利潤の益あるを知るその燈火は終夜さえず十九かれ手を紡線車にのべ、その指に紡錘をとり二十手を貧者にのべ、手を困苦者に舒ぶ三彼は家人の爲に雪をおそれず、蓋その家人みな蕃紅の衣をさればなり三彼はちのれの爲に美しき櫛子をつくり、細布と紫とをもてその衣とせり三その夫はその地の長老とよもに邑の門に坐するによりて人に知るとなり三彼は細布の衣を製てこれをうり、帯をつくりて商賈にあたる三彼は筋力と尊貴とを衣とし且のちの日を笑ふ三彼は口を啓きて智慧をのぶ、仁愛の教誨その舌にあり三かれはその家の事を憂み怠惰の糧を食はず三その衆子は起て彼を祝す、その夫も彼を讃ていふ元賢く事なす女子は多けれども汝はすべての女子に愈れり三艶麗はいつはりなり、美色は呼吸のごとし、惟エホバを畏るゝ女は譽られん三その手の操作の果をこれにあたへ、その行爲によりてこれを邑の門にほめよ、

箴言終

明治三十六年六月一日印刷  
 明治三十六年六月三日發行

定價金參拾錢

東京市神田區錦町一丁目十番地 隆  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 大  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 月  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 大  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 月  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆

發行所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆  
 印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆  
 印刷者 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆  
 印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 隆

發兌元 東京市神田區錦町一丁目十番地 隆  
 大阪市江戶堀上通 隆  
 廣島市四橋町 隆

(電話本局千〇九十三番)  
 文學同志會大阪支部  
 文學同志會中國支部

# THE PROVERBS.

## CHAPTER I.

1 *The use of the proverbs.* 7 *An exhortation to fear God, and believe his word.* 10 *To avoid the entichings of sinners.* 20 *Wisdom complaineth of her contempt.* 24 *She threateneth her contemners.*

**T**HE Proverbs of Solomon the son: of David, king of Israel;

2 To know wisdom and instruction; to perceive the words of understanding;

3 To receive the instruction of wisdom, justice, and judgment, and equity;

4 To give subtilty to the simple, to the young man knowledge and discretion.

5 A wise *man* will hear, and will increase learning; and a man of understanding shall attain unto wise counsels:

6 To understand a proverb, and the interpretation; the words of the wise, and their dark sayings.

7 ¶ The fear of the LORD *is* the beginning of knowledge: *but* fools despise wisdom and instruction.

8 My son, hear the instruction of thy

father, and forsake not the law of thy mother:

9 For they *shall be* an ornament of grace unto thy head, and chains about thy neck.

10 ¶ My son, if sinners entice thee, consent thou not.

11 If they say, Come with us, let us lay wait for blood, let us lurk privily for the innocent without cause:

12 Let us swallow them up alive as the grave; and whole, as those that go down into the pit:

13 We shall find all precious substance, we shall fill our houses with spoil:

14 Cast in thy lot among us; let us all have one purse:

15 My son, walk not thou in the way with them; refrain thy foot from their path:

16 For their feet run to evil, and make haste to shed blood.

17 Surely in vain the net is spread in the sight of any bird.

18 And they lay wait for their *own* blood; they lurk privily for their *own* lives.

19 So *are* the ways of every one that is greedy of gain; *which* taketh away the life of the owners thereof.

20 ¶ Wisdom crieth without; she uttereth her voice in the streets:

21 She crieth in the chief place of con-

course, in the openings of the gates: in the city she uttereth her words, *saying*,

22 How long, ye simple ones, will ye love simplicity? and the scorers delight in their scorning, and fools hate knowledge?

23 Turn you at my reproof: behold, I will pour out my spirit unto you, I will make known my words unto you.

24 ¶ Because I have called, and ye refused; I have stretched out my hand, and no man regarded;

25 But ye have set at nought all my counsel, and would none of my reproof:

26 I also will laugh at your calamity; I will mock when your fear cometh;

27 When your fear cometh as desolation, and your destruction cometh as a whirlwind; when distress and anguish cometh upon you.

28 Then shall they call upon me, but I will not answer; they shall seek me early, but they shall not find me:

29 For that they hated knowledge, and did not choose the fear of the LORD:

30 They would none of my counsel: they despised all my reproof.

31 Therefore shall they eat of the fruit of their own way, and be filled with their own devices.

32 For the turning away of the simple

shall slay them, and the prosperity of fools shall destroy them.

33 But whoso hearkeneth unto me shall dwell safely, and shall be quiet from fear of evil.

## CHAPTER II.

*1 Wisdom promiseth godliness to her children, 10 and safety from evil company, 20 and direction in good ways.*

**M**Y son, if thou wilt receive my words, and hide, commandments with thee;

2 So that thou incline thine ear unto wisdom, *and* apply thine heart to understanding;

3 Yea, if thou criest after knowledge, *and* liftest up thy voice for understanding;

4 If thou seekest her as silver, and searchest for her as *for* hid treasures;

5 Then shalt thou understand the fear of the LORD, and find the knowledge of God.

6 For the LORD giveth wisdom: out of his mouth *cometh* knowledge and understanding.

7 He layeth up sound wisdom for the righteous: *he is* a buckler to them that walk uprightly.

8 He keepeth the paths of judgment, and preserveth the way of his saints.

9 Then shalt thou understand right-

eousness, and judgement, and equity; *yea*, every good path.

10 ¶ When wisdom entereth into thine heart, and knowledge is pleasant unto thy soul;

11 Discretion shall preserve thee, understanding shall keep thee:

12 To deliver thee from the way of the evil *man*, from the man that speaketh froward things;

13 Who leave the paths of uprightness, to walk in the ways of darkness;

14 Who rejoice to do evil, *and* delight in the frowardness of the wicked;

15 Whose ways *are* crooked, and *they* froward in their paths:

16 To deliver thee from the strange woman, *even* from the stranger *which* flattereth with her words;

17 Which forsaketh the guide of her youth, and forgetteth the covenant of her God.

18 For her house inclineth unto death, and her paths unto the dead.

19 None that go unto her return again, neither take they hold of the paths of life.

20 That thou mayest walk in the way of good *men*, and keep the paths of the righteous.

21 For the upright shall dwell in the

land, and the perfect shall remain in it.

22 But the wicked shall be cut off from the earth, and the transgressors shall be rooted out of it.

### CHAPTER III.

1 *An exhortation to obedience, 5 to faith, 7 to mortification, 9 to devotion, 11 to patience. 13 The happy gain of wisdom. 19 The power, 21 and the benefits of wisdom. 27 An exhortation to charitableness, 30 peaceableness, 31 and contentedness. 33 The cursed state of the wicked.*

**M**Y son, forget not my law; but let thine heart keep my commandments:

2 For length of days, and long life, and peace, shall they add to thee.

3 Let not mercy and truth forsake thee: bind them about thy neck; write them upon the table of thine heart:

4 So shalt thou find favour and good understanding in the sight of God and of man.

5 ¶ Trust in the LORD with all thine heart; and lean not unto thine own understanding.

6 In all thy ways acknowledge him, and he shall direct thy paths.

7 ¶ Be not wise in thine own eyes: fear the LORD, and depart from evil.

8 It shall be health to thy navel, and marrow to thy bones.

9 Honour the LORD with thy substance, and with the firstfruits of all thine increase:

10 So shall thy barns be filled with plenty, and thy presses shall burst out with new wine.

11 ¶ My son, despise not the chastening of the LORD; neither be weary of his correction:

12 For whom the LORD loveth he correcteth; even as a father the son *in whom* he delighteth.

13 ¶ Happy *is* the man *that* findeth wisdom, and the man *that* getteth understanding:

14 For the merchandise of it *is* better than the merchandise of silver, and the gain thereof than fine gold.

15 She *is* more precious than rubies: and all the things thou canst desire are not to be compared unto her.

16 Length of days *is* in her right hand; *and* in her left hand riches and honour.

17 Her ways *are* ways of pleasantness, and all her paths *are* peace.

18 She *is* a tree of life to them that lay hold upon her: and happy *is every one* that retaineth her.

19 The LORD by wisdom hath founded the earth; by understanding hath he established the heavens.

20 By his knowledge the depths are broken up, and the clouds drop down the dew.

21 ¶ My son, let not them depart from thine eyes: keep sound wisdom and discretion:

22 So shall they be life unto thy soul, and grace to thy neck.

23 Then shalt thou walk in thy way safely, and thy foot shall not stumble.

24 When thou liest down, thou shalt not be afraid: yea, thou shalt lie down, and thy sleep shall be sweet.

25 Be not afraid of sudden fear, neither of the desolation of the wicked, when it cometh.

26 For the LORD shall be thy confidence, and shall keep thy foot from being taken.

27 ¶ Withhold not good from them to whom it is due, when it is in the power of thine hand to do *it*.

28 Say not unto thy neighbour, Go, and come again, and to morrow I will give; when thou hast it by thee.

29 Devise not evil against thy neighbour, seeing he dwelleth securely by thee.

30 ¶ Strive not with a man without cause, if he have done thee no harm.

31 ¶ Envy thou not the oppressor, and choose none of his ways.

32 For the froward *is* abomination to the LORD: but his secret *is* with the righteous.

33 ¶ The curse of the LORD *is* in the house of the wicked: but he blesseth the habitation of the just.

34 Surely he scorneth the scorners but he giveth grace unto the lowly.

35 The wise shall inherit glory: but shame shall be the promotion of fools.

#### CHAPTER IV.

*1 Solomon, to persuade obedience, 3 sheweth what instruction he had of his parents, 5 to study wisdom, 14 and to shun the path of the wicked. 20 He exhorteth to faith, 23 and sanctification.*

**H**EAR, ye children, the instruction of a father, and attend to know understanding.

2 For I give you good doctrine, forsake ye not my law.

3 For I was my father's son, tender and only *beloved* in the sight of my mother.

4 He taught me also, and said unto me, Let thine heart retain my words: keep my commandments, and live.

5 Get wisdom, get understanding: forget *it* not; neither decline from the words of my mouth.

6 Forsake her not, and she shall preserve thee: love her, and she shall keep thee.

7 wisdom *is* the principal thing; *therefore* get wisdom: and with all thy getting get understanding.

8 Exalt her, and she shall promote thee:

she shall bring thee to honour, when thou dost embrace her.

9 She shall give to thine head an ornament of grace: a crown of glory shall she deliver to thee.

10 Hear, O my son, and receive my sayings; and the years of thy life shall be many.

11 I have taught thee in the way of wisdom; I have led thee in right paths.

12 When thou goest, thy steps shall not be straitened; and when thou runnest, thou shalt not stumble.

13 Take fast hold of instruction; let *her* not go: keep her; for she *is* thy life.

14 ¶ Enter not into the path of the wicked, and go not in the way of evil *men*.

15 Avoid it, pass not by it, turn from it, and pass away.

16 For they sleep not, except they have done mischief; and their sleep is taken away, unless they cause *some* to fall.

17 For they eat the bread of wickedness, and drink the wine of violence.

18 But the path of the just *is* as the shining light, that shineth more and more unto the perfect day.

19 The way of the wicked *is* as darkness: they know not at what they stumble.

20 ¶ My son, attend to my words; incline thine ear unto my sayings.

21 Let them not depart from thine eyes; keep them in the midst of thine heart.

22 For they *are* life unto those that find them, and health to all their flesh.

23 ¶ Keep thy heart with all diligence; for out of it *are* the issues of life.

24 Put away from thee a froward mouth, and perverse lips put far from thee.

25 Let thine eyes look right on, and let thine eyelids look straight before thee.

26 Ponder the path of thy feet, and let all thy ways be established.

27 Turn not to the right hand nor to the left: remove thy foot from evil.

## CHAPTER V.

1 *Solomon exhorteth to the study of wisdom.* 3 *He sheweth the mischief of whoredom and riot.* 15 *He exhorteth to contentedness, liberality, and chastity.* 22 *The wicked are overtaken with their own sins.*

**M**Y son, attend unto my wisdom, and bow thine ear to my understanding:

2 That thou mayest regard discretion, and *that* thy lips may keep knowledge.

3 ¶ For the lips of a strange woman drop *as* a honeycomb, and her mouth *is* smoother than oil:

4 But her end is bitter as wormwood, sharp as a twoedged sword.

5 Her feet go down to death; her steps take hold on hell.

6 Lest thou shouldest ponder the path of life, her ways are moveable, *that* thou canst not know *them*.

7 Hear me now therefore, O ye children, and depart not from the words of my mouth.

8 Removes thy way far from her, and come not nigh the door of her house.

9 Lest thou give thine honour unto others, and thy years unto the cruel:

10 Lest strangers be filled with thy wealth; and thy labours *be* in the house of a stranger;

11 And thou mourn at the last, when thy flesh and thy body are consumed.

12 And say, How have I hated instruction, and my heart despised reproof;

13 And have not obeyed the voice of my teachers, nor inclined mine ear to them that instructed me!

14 I was almost in all evil in the midst of the congregation and assembly.

15 ¶ Drink waters out of thine owd cistern, and running waters out of thine own well.

16 Let thy fountains be dispersed abroad, *and* rivers of waters in the streets:

17 Let them be only thine own, and not strangers' with thee.

18 Let thy fountain be blessed: and rejoice with the wife of thy youth.

19 *Let her be as* the loving hind and pleasant roe; let her dreafts satisfy thee at all times; and be thou ravished always with her love.

20 And why wilt thou, my son, be ravished with a strange woman, and emdrace the bosom of a stranger!

21 For the ways of man *are* before the eyes of the LORD, and he pondereth all his goings.

22 ¶ His own iniquities shall take the wicked himself, and he shall be holden with the cords of his sins.

23 He shall die without instruction; and in the greatness of his folly he shall go astray.

## CHAPTER VI.

1 *Against suretiship, 6 idleness, 12 and mischievousness. 16 Seven things hateful to God. 20 The blessings of obedience. 25 The mischiefs of whoredom.*

**M**Y son, if thou be surety for thy friend, *if* thou hast stricken thy hand with a stranger.

2 Thou art snared with the words of thy mouth, thou art taken with the words of thy mouth.

3 Do this now, my son, and deliver thyself, when thou art come into the hand of thy



friend; go, humble thyself, and make sure thy friend.

4 Give not sleep to thine eyes, nor slumber to thine eyelids.

5 Deliver thyself as a roe from the hand of the hunter, and as a bird from the hand of the fowler.

6 ¶ Go to the ant, thou sluggard; consider her ways, and be wise:

7 Which having no guide, overseer, or ruler.

8 Provideth her meat in the summer, and gathereth her food in the harvest.

9 How long wilt thou sleep, O sluggard? when wilt thou arise out of thy sleep?

10 Yet a little sleep, a little slumber, a little folding of the hands to sleep:

11 So shall thy poverty, come as one that travelleth, and thy want as an armed man.

12 ¶ A naughty person, a wicked man, walketh with a froward mouth.

13 He winketh with his eyes. he speaketh with his feet, he teacheth with his fingers;

14 Frowardness is in his heart, he deviseth mischief continually; he soweth discord.

15 Therefore shall his calamity come suddenly; suddenly shall he be broken without remedy.

16 ¶ These six things doth the LORD hate; yea, seven are an abomination unto him:

17 A proud look, a lying tongue, and hands that shed innocent blood,

18 A heart that deviseth wicked imaginations, feet that be swift in running to mischief,

19 A false witness that speaketh lies, and he that soweth discord among brethren.

20 ¶ My son, keep thy father's commandment, and forsake not the law of thy mother:

21 Bind them continually upon thine heart, and tie them about thy neck.

22 When thou goest, it shall lead thee; when thou sleepest, it shall keep thee; and when thou awakest, it shall talk with thee.

23 For the commandment is a lamp; and the law is light; and reproofs of instruction are the way of life:

24 To keep thee from the evil woman, from the flattery of the tongue of a strange woman.

25 Lust not after her beauty in thine heart; neither let her take thee with her eyelids.

26 For by means of a whorish woman a man is brought to a piece of bread and the adulteress will hunt for the precious life.

27 Can a man take fire in his bosom, and his clothes not be burned?

28 Can one go upon hot coals, and his feet not be burned?

29 So he that goeth in to his neighbour's

wife; whosoever toucheth her shall not be innocent.

30 *Men* do not despise a thief, if he steal to satisfy his soul when he is hungry;

31 But *if* he be found, he shall restore sevenfold; he shall give all the substance of his house.

32 *But* whoso committeth adultery with a woman lacketh understanding: he *that* doeth it destroyeth his own soul.

33 A wound and dishonour shall he get; and his reproach shall not be wiped away.

34 For jealousy *is* the rage of a man: therefore he will not spare in the day of vengeance.

35 He will not regard any ransom; neither will he rest content, though thou givest many gifts.

## CHAPTER VII.

<sup>1</sup> *Solomon persuadeth to a sincere and kind familiarity with wisdom. 6 In an example of his own experience, he sheweth 10 the cunning of a whore, 22 and the desperate simplicity of a young wanton. 24 He dehorteth from such wickedness.*

**M**Y son, keep my words, and lay up my commandments with thee.

2 Keep my commandments, and lives; and my law as the apple of thine eye.

3 Bind them upon thy fingers, write them upon the table of thine heart.

4 Say unto wisdom, Thou *art* my sister; and call understanding *thy* kinswoman:

5 That they may keep thee from the strange woman, from <sup>the</sup> the stranger *which* flattereth with her words.

6 ¶ For at the window of my house I looked through my casement.

7 And beheld among the simple ones, I discerned among the youths, a young man void of understanding,

8 Passing through the street near her corner; and he went the way to her house,

9 In the twilight, in the evening, in the black and dark night:

10 And, behold, there met him a woman *with* the attire of a harlot, and subtile of heart.

11 (She *is* loud and stubborn; her feet abide not in her house:

12 Now *is she* without, now in the streets, and lieth in wait at every corner.)

13 So she caught him, and kissed him, *and* with an impudent face said unto him,

14 *I have* peace offerings with me; this day have I paid my vows.

15 Therefore came I forth to meet thee, diligently to seek thy face, and I have found thee.

16 I have decked my bed with coverings of tapestry, with carved *works*, with fine linen of Egypt.

17 I have perfumed my bed with myrrh, aloes, and cinnamon.

18 Come, let us take our fill of love until the morning; let us solace ourselves with loves.

19 For the goodman *is* not at home, he is gone a long journey:

20 He hath taken a bag of money with him, *and* will come home at the day appointed.

21 With her much fair speech she caused him to yield, with the flattering of her lips she forced him.

22 He goeth after her straightway, as an ox goeth to the slaughter, or as a fool to the correction of the stocks;

23 Till a dart strike through his liver; as a bird hasteth to the snare, and knoweth not that it *is* for his life.

24 ¶ Hearken unto me now therefore, O ye children, and attend to the words of my mouth.

25 Let not thine heart decline to her ways, go not astray in her paths.

26 For she hath cast down many wounded: yea, many strong *men* have been slain by her.

27 Her house *is* the way to hell, going down to the chambers of death.

## CHAPTER VIII.

1 *The fame,* 6 *and evidence of wisdom.* 10 *The excellency,* 12 *the nature,* 15 *the power,* 18 *the riches,* 22 *and the eternity of wisdom.* 32 *Wisdom is to be desired for the blessedness it bringeth.*

**D**OTH not wisdom cry? and understanding put forth her voice?

2 She standeth in the top of high places, by the way in the places of the paths.

3 She crieth at the gates, at the entry of the city, at the coming in at the doors:

4 Unto you, O men, I call; and my voice *is* to the sons of man.

5 O ye simple, understand wisdom: and ye fools, be ye of an understanding heart.

6 Hear; for I will speak of excellent things; and the opening of my lips *shall be* right things.

7 For my mouth shall speak truth; and wickedness *is* an abomination to my lips.

8 All the words of my mouth *are* in righteousness; *there is* nothing froward or perverse in them.

9 They *are* all plain to him that understandeth, and right to them that find knowledge.

10 Receive my instruction, and not silver; and knowledge rather than choice gold.

11 For wisdom *is* better than rubies and all the things that may be desired are not to be compared to it.

12 I wisdom dwell with prudence, and find out knowledge of witty inventions.

13 The fear of the LORD *is* to hate evil: pride, and arrogancy, and the evil way, and the froward mouth, do I hate.

14 Counsel *is* mine, and sound wisdom: I *am* understanding; I have strength.

15 By me kings reign, and princes decree justice.

16 By me princes rule, and nobles, *even* all the judges of the earth.

17 I love them that love me; and those that seek me early shall find me.

18 Riches and honour *are* with me; *yea*, durable riches and righteousness.

19 My fruit *is* better than gold, *yea*, than fine gold; and my revenue than choice silver.

20 I lead in the way of righteousness, in the midst of the paths of judgment:

21 That I may cause those that love me to inherit substance; and I will fill their treasures.

22 The LORD possessed me in the beginning of his way, before his works of old.

23 I was set up from everlasting, from the beginning, or ever the earth was.

24 When *there were* no depths I was

brought forth; when *there were* no fountains abounding with water.

25 Before the mountains were settled, before the hills was I brought forth:

26 While as yet he had not made the earth, nor the fields, nor the highest part of the dust of the world.

27 When he prepared the heavens, I *was* there: when he set a compass upon the face of the depth:

28 When he established the clouds above: when he strengthened the fountains of the deep:

29 When he gave to the sea his decree, that the waters should not pass his commandment: when he appointed the foundations of the earth:

30 Then I was by him, *as* one brought up *with him*: and I was daily *his* delight, rejoicing always before him;

31 Rejoicing in the habitable part of his earth; and my delights *were* with the sons of men.

32 Now therefore hearken unto me, O ye children: for blessed *are they that* keep my ways.

33 Hear instruction, and be wise, and refuse it not.

34 Blessed *is* the man that heareth me

watching daily at my gates, waiting at the posts of my doors.

35 For whoso findeth me findeth life, and shall obtain favour of the LORD.

36 But he that sinneth against me wrongeth his own soul: all they that hate me love death.

### CHAPTER IX.

1 *The discipline,* 4 *and doctrine of wisdom.* 13 *The custom,* 16 *and error of folly.*

WISDOM hath builded her house, she hath hewn out her seven pillars.

2 She hath killed her beasts; she hath mingled her wine; she hath also furnished her table.

3 She hath sent forth her maidens: she crieth upon the highest places of the city,

4 Whoso *is* simple, let him trun in hither: *as for* him that wanteth understanding, she saith to him.

5 Come, eat of my bread, and drink of the wine *which* I have mingled.

6 Forsake the foolish, and live; and go in, the way ot understanding.

7 He that reproveth a scorner getteth to himself shame: and he that rebuketh a wicked *man getteth* himself a blot.

8 Reprove not a scorner, lest he hate thee: rebuke a wise man, and he will love thee.

9 Give *instruction* to a wise *man*, and he will be yet wiser: teach a just *man*, and he will increase in learning.

10 The fear of the LORD *is* the beginning of wisdom: and the knowledge of the Holy *is* understanding.

11 For by me thy days shall be multiplied, and the years of thy life shall be increased.

12 If thou be wise, thou shalt be wise for thyself: but *if* thou scornest, thou alone shalt bear *it*.

13 ¶ A foolish woman *is* clamorous: *she is* simple, and knoweth nothing.

14 For she sitteth at the door of her house, on a seat in the high places of the city.

15 To call passengers who go right on their ways:

16 Whoso *is* simple, let him turn in hither: and *as for* him that wanteth understanding, she saith to him.

17 Stolen waters are sweet, and bread *eaten* in secret is pleasant.

18 But he knoweth not that the dead *are* there. *and that* her guests *are* in the depth of hell.

## CHAPTER X.

*From this chapter to the five and twentieth are sundry observations of moral virtues, and their contrary vices.*

**T**HE Proverbs of Solomon. A wise son maketh a glad father: but a foolish son *is* the heaviness of his mother.

2 Treasures of wickedness profit nothing: but righteousness delivereth from death.

3 The LORD will not suffer the soul of the righteous to famish: but he casteth away the substance of the wicked.

4 He becometh poor that dealeth *with* a slack hand: but the hand of the diligent maketh rich.

5 He that gathereth in summer *is* a wise son: *but* he that sleepeth in harvest *is* a son that causeth shame.

6 Blessing *are* upon the head of the just: but violence covereth the mouth of the wicked.

7 The memory of the just *is* blessed: but the name of the wicked shall rot.

8 The wise in heart will receive commandments: but a prating fool shall fall.

9 He that walketh uprightly walketh surely: but he that perverteth his ways shall be known.

10 He that winketh with the eye causeth sorrow: but a prating fool shall fall.

11 The mouth of a righteous *man is* a well of life: but violence covereth the mouth of the wicked.

12 Hatred stirreth up strifes: but love covereth all sins.

13 In the lips of him that hath understanding wisdom is found: but a rod *is* for the back of him that is void of understanding.

14 Wise *men* lay up knowledge: but the mouth of the foolish *is* near destruction.

15 The rich man's wealth *is* his strong city: the destruction of the poor *is* their poverty.

16 The labour of the righteous *tendeth* to life: the fruit of the wicked to sin.

17 He *is in* the way of life that keepeth instruction: but he that refuseth reproof erreth.

18 He that hideth hatred *with* lying lips, and he that uttereth a slander, *is* a fool.

19 In the multitude of words there wanteth not sin: but he that refraineth his lips *is* wise.

20 The tongue of the just *is as* choice silver: the heart of the wicked *is* little worth.

21 The lips of the righteous feed many: but fools die for want of wisdom.

22 The blessing of the LORD, it maketh rich, and he addeth no sorrow with it.

23 *It is* as sport to a fool to do mischief: but a man of understanding hath wisdom.

24 The fear of the wicked, it shall come

upon him: but the desire of the righteous shall be granted.

25 As the whirlwind passeth, so *is* the wicked no *more*: but the righteous *is* an everlasting foundation.

26 As vinegar to the teeth, and as smoke to the eyes, so *is* the sluggard to them that send him.

27 The fear of the LORD prolongeth days: but the years of the wicked shall be shortened.

28 The hope of the righteous *shall be* gladness: but the expectation of the wicked shall perish.

29 The way of the LORD *is* strength to the upright: but destruction *shall be* to the workers of iniquity.

30 The righteous shall never be removed: but the wicked shall not in habit the earth.

31 The mouth of the just bringeth forth wisdom: but the froward tongue shall be cutout.

32 The lips of the righteous know what is acceptable: but the mouth of the wicked *speaketh* frowardness.

## CHAPTER XI.

**A** FALSE balance *is* abomination to the LORD: but a just weight *is* his delight.

2 *When* pride cometh, then cometh

shame; but with the lowly *is* wisdom.

3 The integrity of the upright shall guide them: but the perverseness of transgressors shall destroy them.

4 Riches profit not in the day of wrath: but righteousness delivereth from death.

5 The righteousness of the perfect shall direct his way: but the wicked shall fall by his own wickedness.

6 The righteousness of the upright shall deliver them; but transgressors shall be taken in *their own* naughtiness.

7 When a wicked man dieth, *his* expectation shall perish: and the hope of unjust *men* perisheth.

8 The righteous is delivered out of trouble, and the wicked cometh in his stead.

9 A hypocrite with *his* mouth destroyeth his neighbour: but through knowledge shall the just be delivered.

10 When it goeth well with the righteous, the city rejoiceth: and when the wicked perish, *there is* shouting.

11 By the blessing of the upright the city is exalted: but it is overthrown by the mouth of the wicked.

12 He that is void of wisdom despiseth his neighbour: but a man of understanding holdeth his peace.

13 A talebearer revealeth secrets: but he

that is of a faithful spirit concealeth the matter.

14 Where no counsel *is*, the people fall: but in the multitude of counsellors *there is* safety.

15 He that is surety for a stranger shall smart *for it*: and he that hateth suretiship is sure.

16 A gracious woman retaineth honour: and strong *men* retain reaches.

17 The merciful man doeth good to his own soul: but *he that is* cruel troubleth his own flesh.

18 The wicked worketh a deceitful work: but to him that soweth righteousness *shall be* a sure reward.

19 As righteousness *tendeth* to life; so he that pursueth evil *pursueth it* to his own death.

20 They that are of a froward heart *are* abomination to the LORD: but *such as are* upright in *their way are* his delight.

21 *Though* hand *join* in hand, the wicked shall not be unpunished: but the seed of the righteous shall be delivered.

22 *As* a jewel of gold in a swine's snout, *so is* a fair woman which is without discretion.

23 The desire of the righteous *is* only good: *but* the expectation of the wicked *is* wrath.

24 There is that scattereth, and yet increaseth; and *there is* that withholdeth more than is meet, but *it tendeth* to poverty.

25 The liberal soul shall be made fat and

he that watereth shall be watered also himself.

26 He that withholdeth corn, the people shall curse him: but blessing *shall be* upon the head of him that selleth *it*.

27 He that diligently seeketh good procureth favour: but he that seeketh mischief, it shall come unto him.

28 He that trusteth in his riches shall fall: but the righteous shall flourish as a branch.

29 He that troubleth his own house shall inherit the wind: and the fool *shall be* servant to the wise of heart.

30 The fruit of the righteous *is* a tree of life; and he that winneth souls *is* wise.

31 Behold, the righteous shall be recompensed in the earth: much more the wicked and the sinner.

## CHAPTER XII.

WHOSO loveth instruction loveth knowledge: but he that hateth reproof *is* brutish.

2 A good *man* obtaineth favour of the LORD: but a man of wicked devices will he condemn.

3 A man shall not be established by wickedness: but the root of the righteous shall not be moved.



4 A virtuous woman *is* a crown to her husband: but she that maketh ashamed *is* as rottenness in his bones.

5 The thoughts of the righteous *are* right: *but* the counsels of the wicked *are* deceit.

6 The words of the wicked *are* to lie in wait for blood: but the mouth of the upright shall deliver them.

7 The wicked are overthrown, and *are* not: but the house of the righteous shall stand.

8 A man shall be commended according to his wisdom: but he that is of a perverse heart shall be despised.

9 *He that is* despised, and hath a servant, *is* better than he that honoureth himself, and lacketh bread.

10 A righteous *man* regardeth the life of his beast: but the tender mercies of the wicked *are* cruel.

11 He that tilleth his land shall be satisfied with bread: but he that followeth vain *persons* *is* void of understanding.

12 The wicked desireth the net of evil *men*: but the root of the righteous yieldeth *fruit*.

13 The wicked is snared by the transgression of *his* lips: but the just shall come out of trouble.

14 A man shall be satisfied with good by the fruit of *his* mouth: and the recompense of a man's hands shall be rendered unto him.

15 The way of a fool *is* right in his own eyes; but he that hearkeneth unto counsel *is* wise.

16 A fool's wrath is presently known but a prudent *man* covereth shame.

17 *He that* speaketh truth sheweth forth righteousness: but a false witness deceit.

18 There is that speaketh like the piercings of a sword: but the tongue of the wise *is* health.

19 The lip of truth shall be established for ever: but a lying tongue *is* but for a moment.

20 Deceit *is* in the heart of them that imagine evil: but to the counsellors of peace *is* joy.

21 There shall no evil happen to the just: but the wicked shall be filled with mischief.

22 Lying lips *are* abomination to the LORD: but they that deal truly *are* his delight.

23 A prudent man concealeth knowledge: but the heart of fools proclaimeth foolishness.

24 The hand of the diligent shall bear rule: but the slothful shall be under tribute.

25 Heaviness in the heart of man maketh it stoop: but a good word maketh it glad.

26 The righteous *is* more excellent than his neighbour: but the way of the wicked seduceth them.

27 The slothful *man* roasteth not that which

he took in hunting: but the substance of a diligent man *is* precious.

28 In the way of righteousness *is* life; and *in* the pathway *thereof there is* no death.

### CHAPTER XIII.

**A** WISE son *heareth* his father's instruction: but a scorner *heareth* not rebuke.

2 A man shall eat good by the fruit of *his* mouth: but the soul of the transgressors *shall eat* violence.

3 He that keepeth his mouth keepeth his life: *but* he that openeth wide his lips shall have destruction.

4 The soul of the sluggard desireth, and *hath* nothing: but the soul of the diligent shall be made fat.

5 A righteous *man* hateth lying: but a wicked *man* is loathsome, and cometh to shame.

6 Righteousness keepeth *him that is* upright in the way: but wickedness overthroweth the sinner.

7 There is that maketh himself rich, yet *hath* nothing: *there is* that maketh himself poor, yet *hath* great riches.

8 The ransom of a man's life *are* his riches: but the poor *heareth* not rebuke.

9 The light of the righteous rejoiceth: but the lamp of the wicked shall be put out.

10 Only by pride cometh contention: but with the well advised *is* wisdom.

11 Wealth *gotten* by vanity shall be diminished: but he that gathereth by labour shall increase.

12 Hope preferred maketh the heart sick: but *when* the desire cometh, *it is* a tree of life.

13 Whoso despiseth the word shall be destroyed: but he that feareth the commandment shall be rewarded.

14 The law of the wise *is* a fountain of life, to depart from the snares of death.

15 Good understanding giveth favour: but the way of transgressors *is* hard.

16 Every prudent *man* dealeth with knowledge: but a fool layeth open *his* folly.

17 A wicked messenger falleth into mischief: but a faithful ambassador *is* health.

18 Poverty and shame *shall be* to him that refuseth instruction: but he that regardeth reproof shall be honoured.

19 The desire accomplished is sweet to the soul: but *it is* abomination to fools to depart from evil.

20 He that walketh with wise *men* shall be wise: but a companion of fools shall be destroyed.

21 Evil pursueth sinners: but to the righteous good shall be repaid.

22 A good *man* leaveth an inheritance to his children's children: and the wealth of the sinner *is* laid up for the just.

23 Much food *is in* the tillage of the poor: but there is *that is* destroyed for want of judgment.

24 He that spareth his rod hateth his son: but he that loveth him chasteneth him betimes.

25 The righteous eateth to the satisfying of his soul: but the belly of the wicked shall want.

#### CHAPTER XIV.

**E**VERY wise woman buildeth her house: but the foolish plucketh it down with her hands.

2 He that walketh in his uprightness feareth the LORD: but *he that is* perverse in his ways despiseth him.

3 In the mouth of the foolish *is* a rod of pride: but the lips of the wise shall preserve them.

4 Where no oxen *are*, the crib *is* clean: but much increase *is* by the strength of the ox.

5 A faithful witness will not lie: but a false witness will utter lies.

6 A scorner seeketh wisdom, and *findeth it* not: but knowledge *is* easy unto him that understandeth.

7 Go from the presence of a foolish man, when thou perceivest not *in him* the lips of knowledge.

8 The wisdom of the prudent *is* to understand his way: but the folly of fools *is* deceit.

9 Fools make a mock at sin: but among the righteous *there is* favour.

10 The heart knoweth his own bitterness; and a stranger doth not intermeddle with his joy.

11 The house of the wicked shall be overthrown: but the tabernacle of the upright shall flourish.

12 There is a way which seemeth right unto a man; but the end thereof *are* the ways of death.

13 Even in laughter the heart is sorrowful; and the end of that mirth *is* heaviness.

14 The backslider in heart shall be filled with his own ways: and a good man *shall be satisfied* from himself.

15 The simple believeth every word: but the prudent *man* looketh well to his going.

16 A wise *man* feareth, and departeth from evil: but the fool rageth, and is confident.

17 *He that is* soon angry dealeth foolishly and a man of wicked devices is hated.

18 The simple inherit folly: but the prudent are crowned with knowledge.

19 The evil bow before the good; and the wicked at the gates of the righteous.

20 The poor is hated even of his own neighbour: but the rich *hath* many friends.

21 He that despiseth his neighbour sinneth: but he that hath mercy on the poor, happy *is* he.

22 Do they not err that devise evil? but mercy and truth *shall be* to them that devise good.

23 In all labour there is profit: but the talk of the lips *tendeth* only to penury.

24 The crown of the wise *is* their riches: *but* the foolishness of fools *is* folly.

25 A true witness delivereth souls: but a deceitful *witness* speaketh lies.

26 In the fear of the LORD *is* strong confidence: and his children shall have a place of refuge.

27 The fear of the LORD *is* a fountain of life, to depart from the snares of death.

28 In the multitude of people *is* the king's honour: but in the want of people *is* the destruction of the prince.

29 *He that is* slow to wrath *is* of great

understanding: but *he that is* hasty of spirit exalteth folly.

30 A sound heart *is* the life of the flesh: put envy the rottenness of the bones.

31 He that oppresseth the poor reproacheth his Maker: but the that honoureth him hath mercy on the poor.

32 The wicked is driven away in his wickedness: but the righteous hath hope in his death.

33 Wisdom resteth in the heart of him that hath understanding: but *that which is* in the midst of fools is made known.

34 Righteousness exalteth a nation: but sin *is* a reproach to any people.

35 The king's favour *is* toward a wise servant: but his wrath is *against* him that causeth shame.

## CHAPTER XV.

**A** SOFT answer turneth away wrath: but grievous words stir up anger.

2 The tongue of the wise useth knowledge aright: but the mouth of fools poureth out foolishness.

3 The eyes of the LORD *are* in every place, beholding the evil and the good.

4 A wholesome tongue *is* a tree of life:

but perverseness therein *is* a breach in the spirit.

5 A fool despiseth his father's instruction: but he that regardeth reproof is prudent.

6 In the house of the righteous *is* much treasure: but in the revenues of the wicked *is* trouble.

7 The lips of the wise disperse knowledge: but the heart of the foolish *doeth* not so.

8 The sacrifice of the wicked *is* an abomination to the LORD: but the prayer of the upright *is* his delight.

9 The way of the wicked *is* an abomination unto the LORD: but he loveth him that followeth after righteousness.

10 Correction *is* grievous unto him that forsaketh the way: *and* he that hateth reproof shall die.

11 Hell and destruction *are* before the LORD: how much more then the hearts of the children of men?

12 A scorner loveth not one that reproveth him: neither will he go unto the wise.

13 A merry heart maketh a cheerful countenance: but by sorrow of the heart the spirit is broken.

14 The heart of him that hath understanding seeketh knowledge: but the mouth of fools feedeth on foolishness.

15 All the days of the afflicted *are* evil: but he that is of a merry heart *hath* a continual feast.

16 Better *is* little with the fear of the LORD, than great treasure and trouble therewith.

17 Better *is* a dinner of herbs where love is, than a stalled ox and hatred therewith.

18 A wrathful man stirreth up strife: but *he that is* slow to anger appeaseth strife.

19 The way of the slothful *man is* as a hedge of thorns: but the way of the righteous *is* made plain.

20 A wise son maketh a glad father: but a foolish man despiseth his mother.

21 Folly *is* joy to *him that is* destitute of wisdom: but a man of understanding walketh uprightly.

22 Without counsel purposes are disappointed: but in the multitude of counsellors they are established.

23 A man hath joy by the answer of his mouth: and a word *spoken* in due season, how good *is it!*

24 The way of life *is* above to the wise, that he may depart from hell beneath.

25 The LORD will destroy the house of the proud: but he will establish the border of the widow.

26 The thoughts of the wicked *are* an

abomination to the LORD: but *the words* of the pure *are* pleasant words.

27 He that is greedy of gain troubleth his own house; but he that hateth gifts shall live.

28 The heart of the righteous studieth to answer: but the mouth of the wicked poureth out evil things.

29 The LORD *is* far from the wicked: but he heareth the prayer of the righteous.

30 The light of the eyes rejoiceth the heart: *and* a good report maketh the bones fat.

31 The ear that heareth the reproof of life abideth among the wise.

32 He that refuseth instruction despiseth his own soul: but he that heareth reproof getteth understanding.

33 The fear of the LORD *is* the instruction of wisdom; and before honour *is* humility.

## CHAPTER XVI.

**T**HE preparations of the heart in man, and the answer of the tongue, *is* from the LORD.

2 All the ways of a man *are* clean in his own eyes; but the LORD weigheth the spirits.

3 Commit thy works unto the LORD, and thy thoughts shall be established.

4 The LORD hath made all *things* for himself: yea, even the wicked for the day of evil.

5 Every one *that is* proud in heart *is* an abomination to the LORD: *though* hand *join* in hand, he shall not be unpunished.

6 By mercy and truth iniquity is purged: and by the fear of the LORD *men* depart from evil.

7 When a man's ways please the LORD, he maketh even his enemies to be at peace with him.

8 Better *is* a little with righteousness, than great revenues without right.

9 A man's heart deviseth his way: but the LORD directeth his steps.

10 A divine sentence *is* in the lips of the king: his mouth transgresseth not in judgment.

11 A just weight and balance *are* the LORD's all the weights of the bag *are* his work.

12 *It is* an abomination to kings to commit wickedness: for the throne is established by righteousness.

13 Righteous lips *are* the delight of kings; and they love him that speaketh right.

14 The wrath of a king *is as* messengers of death: but a wise man will pacify it.

15 In the light of the king's countenance *is*

life; and his favour *is* as a cloud of the latter rain.

16 How much better *is it* to get wisdom than gold! and to get understanding rather to be chosen than silver!

17 The highway of the upright *is* to depart from evil: he that keepeth his way preserveth his soul.

18 Pride *goeth* before destruction, and a haughty spirit before a fall.

19 Better *it is to be* of an humble spirit with the lowly, than to divide the spoil with the proud.

20 He that handleth a matter wisely shall find good: and whoso trusteth in the LORD, happy *is* he.

21 The wise in heart shall be called prudent: and the sweetness of the lips increaseth learning.

22 Understanding *is* a wellspring of life unto him that hath it: but the instruction of fools *is* folly.

23 The heart of the wise teacheth his mouth, and addeth learning to his lips.

24 Pleasant words *are as* a honeycomb, sweet to the soul, and health to the bones.

25 There is a way that seemeth right unto a man; but the end thereof *are* the ways of death.

26 He that laboureth, laboureth for himself; for his mouth craveth it of him.

27 An ungodly man diggeth up evil: and in his lips *there is* as a burning fire.

28 A froward man soweth strife: and a whisperer separateth chief friends:

29 A violent man enticeth his neighbour, and leadeth him into the way *that is* not good.

30 He shutteth his eyes to devise froward things: moving his lips he bringeth evil to pass.

31 The hoary head *is* a crown of glory, *if* it be found in the way of righteousness.

32 *He that is* slow to anger *is* better than the mighty; and he that ruleth his spirit than he that taketh a city.

33 The lot is cast into the lap; but the whole disposing thereof *is* of the LORD.

## CHAPTER XVII.

**B**BETTER *is* a dry morsel, and quietness therewith, than a house full of sacrifices *with* strife.

2 A wise servant shall have rule over a son that causeth shame, and shall have part of the inheritance among the brethren.

3 The fining pot *is* for silver, and the

furnace for gold: but the LORD trieth the hearts.

4. A wicked doer giveth heed to false lips; *and* a liar giveth ear to a naughty tongue.

5. Whoso mocketh the poor reproacheth his Maker: *and* he that is glad at calamities shall not be unpunished.

6. Children's children *are* the crown of old men; and the glory of children *are* their fathers.

7. Excellent speech becometh not a fool: much less do lying lips a prince.

8. A gift *is as* a precious stone in the eyes of him that hath it: whithersoever it turneth, it prospereth.

9. He that covereth a transgression seeketh love; but he that repeateth a matter separateth *very* friends.

10. A reproof entereth more into a wise man than a hundred stripes into a fool.

11. An evil *man* seeketh only rebellion: therefore a cruel messenger shall be sent against him.

12. Let a bear robbed of her whelps meet a man, rather than a fool in his folly.

13. Whoso rewardeth evil for good, evil shall not depart from his house.

14. The beginning of strife *is as* when one letteth out water: therefore leave off contention, before it be meddled with.

15. He that justifieth the wicked, and he that condemneth the just, even they both *are* abomination to the LORD.

16. Wherefore *is there* a price in the hand of a fool to get wisdom, seeing *he hath* no heart to *it*?

17. A friend loveth at all times, and a brother is born for adversity.

18. A man void of understanding striketh hands, *and* becometh surety in the presence of his friend.

19. He loveth transgression that loveth strife: *and* he that exalteth his gate seeketh destruction.

20. He that hath a froward heart findeth no good: and he that hath a perverse tongue falleth into mischief.

21. He that begetteth a fool *doeth it* to his sorrow: and the father of a fool hath no joy.

22. A merry heart doeth good *like* a medicine: but a broken spirit drieth the bones.

23. A wicked *man* taketh a gift out of the bosom to pervert the ways of judgment.

24. Wisdom *is* before him that hath understanding; but the eyes of a fool *are* in the ends of the earth.

25. A foolish son *is* a grief to his father, and bitterness to her that bare him.



26 Also to punish the just *is* not good, *nor* to strike princes for equity.

27 He that hath knowledge spareth his words: *and* a man of understanding is of an excellent spirit.

28 Even a fool, when he holdeth his peace, is counted wise: *and* he that shutteth his lips *is esteemed* a man of understanding.

#### CHAPTER XVIII.

**T**HROUGH desire a man, having separated himself, seeketh *and* intermeddleth with all wisdom.

2 A fool hath no delight in understanding, but that his heart may discover itself.

3 When the wicked cometh, *then* cometh also contempt, and with ignominy reproach.

4 The words of a man's mouth *are as* deep waters, *and* the wellspring of wisdom *as* a flowing brook.

5 *It is* not good to accept the person of the wicked, to overthrow the righteous in judgment.

6 A fool's lips enter into contention, and his mouth calleth for strokes.

7 A fool's mouth *is* his destruction, and his lips *are* the snare of his soul.

8 The words of a talebearer *as* wounds,

and they go down into the innermost parts of the belly.

9 He also that is slothful in his work is brother to him that is a great waster.

10 The name of the LORD *is* a strong tower: the righteous runneth into it, and is safe.

11 The rich man's wealth *is* his strong city, and as a high wall in his own conceit.

12 Before destruction the heart of man is haughty; and before honour *is* humility.

13 He that answereth a matter before he heareth *it*, *it is* folly and shame unto him.

14 The spirit of a man will sustain his infirmity; but a wounded spirit who can bear?

15 The heart of the prudent getteth knowledge; and the ear of the wise seeketh knowledge.

16 A man's gift maketh room for him and bringeth him before great men.

17 *He that is* first in his own cause *seemeth* just; but his neighbour cometh and searcheth him.

18 The lot causeth contentions to cease, and parteth between the mighty.

19 A brother offended *is harder to be won* than a strong city: and *their* contentions *are* like the bars of a castle.

20 A man's belly shall be satisfied with the fruit of his mouth; *and* with the increase of his lips shall he be filled.

21 Death and life *are* in the power of the tongue: and they that love it shall eat the fruit thereof.

22 *Whoso* findeth a wife findeth a good *thing*, and obtaineth favour of the LORD.

23 The poor useth entreaties; but the rich answereth roughly.

24 A man *that hath* friends must shew himself friendly: and there is a friend *that* sticketh closer than a brother.

#### CHAPTER XIX.

**B**ETTER *is* the poor that walketh in his integrity, than *he that is* perverse in his lips, and is a fool.

2 Also, *that* the soul *be* without knowledge, *it is* not good; and he that hasteth with *his* feet sinneth.

3 The foolishness of man perverteth his way: and his heart fretteth against the LORD.

4 Wealth maketh many friends; but the poor is separated from his neighbour.

5 A false witness shall not be unpunished; and *he that* speaketh lies shall not escape.

6 Many will entreat the favour of the prince; and every man *is* a friend to him that giveth gifts.

7 All the brethren of the poor do hate him:

how much more do his friends go far from him? he pursueth *them with* words, *yet they are* wanting to *him*.

8 He that getteth wisdom loveth his own soul: he that keepeth understanding shall find good.

9 A false witness shall not be unpunished; and *he that* speaketh lies shall perish.

10 Delight is not seemly for a fool; much less for a servant to have rule over princes.

11 The discretion of a man deferreth his anger; and *it is* his glory to pass over a transgression.

12 The king's wrath *is* as the roaring of a lion; but his favour *is* as dew upon the grass.

13 A foolish son *is* the calamity of his father: and the contentions of a wife *are* a continual dropping.

14 House and riches *are* the inheritance of fathers: and a prudent wife *is* from the LORD.

15 Slothfulness casteth into a deep sleep; and an idle soul shall suffer hunger.

16 He that keepeth the commandment keepeth his own soul; *but* he that despiseth his ways shall die.

17 He that hath pity upon the poor lendeth unto the LORD; and that which he hath given will he pay him again.

18 Chasten thy son while there is hope, and let not thy soul spare for his crying.

19 A man of great wrath shall suffer punishment: for if thou deliver *him*, yet thou must do it again.

20 Hear counsel, and receive instruction, that thou mayest be wise in thy latter end.

21 *There are* many devices in a man's heart; nevertheless the counsel of the LORD, that shall stand.

22 The desire of a man *is* his kindness: and a poor man *is* better than a liar.

23 The fear of the LORD *tenderth* to life: and *he that hath it* shall abide satisfied; he shall not be visited with evil.

24 A slothful *man* hideth his hand in *his* bosom, and will not so much as bring it to his mouth again.

25 Smite a scorner, and the simple will beware: and reprove one that hath understanding, *and* he will understand knowledge.

26 He that wasteth *his* father, *and* chaseth away *his* mother, *is* a son that causeth shame, and bringeth reproach.

27 Cease, my son, to hear the instruction *that causeth* to err from the words of knowledge.

28 An ungodly witness scorneth judgment: and the mouth of the wicked devoureth iniquity.

29 Judgments are prepared for scorners, and stripes for the back of fools.

## CHAPTER XX.

WINE *is* a mocker, strong drink *is* raging: and whosoever is deceived thereby is not wise.

2 The fear of a king *is* as the roaring of a lion: *whoso* provoketh him to anger sinneth *against* his own soul.

3 *It is* an honour for a man to cease from strife: but every fool will be meddling.

4 The sluggard will not plough by reason of the cold; *therefore* shall he beg in harvest, and *have* nothing.

5 Counsel in the heart of man *is like* deep water; but a man of understanding will draw it out.

6 Most men will proclaim every one his own goodness: but a faithful man who can find?

7 The just *man* walketh in his integrity: his children *are* blessed after him.

8 A king that sitteth in the throne of judgment scattereth away all evil with his eyes.

9 Who can say, I have made my heart clean, I am pure from my sine?

10 Divers weights, *and* divers measures, both of them *are* alike abomination to the LORD.

11 Even a child is known by his doings, whether his work *be* pure, and whether *it be* right.

12 The hearing ear, and the seeing eye, the LORD hath made even both of them.

13 Love not sleep, lest thou come to poverty: open thine eyes, *and* thou shalt be satisfied with bread.

14 *It is* naught, *it is* naught, saith the buyer: but when he is gone his way, then he boasteth.

15 There is gold, and a multitude of rubies: but the lips of knowledge *are* a precious jewel.

16 Take his garment that is surety *for* a stranger: and take a pledge of him for a strange woman.

17 Bread of deceit *is* sweet to a man; but afterwards his mouth shall be filled with gravel.

18 *Every* purpose is established by counsel: and with good advice make war.

19 He that goeth about *as* a talebearer revealeth secrets: therefore meddle not with him that flattereth with his lips.

20 Whoso curseth his father or his mother, his lamp shall be put out in obscure darkness.

21 An inheritance *may be* gotten hastily at the beginning; but the end thereof shall not be blessed.

22 Say not thou, I will recompense evil; *but* wait on the LORD, and he shall save thee.

23 Divers weights *are* an abomination unto the LORD; and a false balance *is* not good.

24 Man's goings *are* of the LORD; how can a man then understand his own way?

25 *It is* a snare to the man *who* devoureth *that which is* holy, and after vows to make inquiry.

26 A wise king scattereth the wicked and bringeth the wheel over them.

27 The spirit of man *is* the candle of the LORD, searching all the inward parts of the belly.

28 Mercy and truth preserve the king: and his throne is upholden by mercy.

29 The glory of young men *is* their strength: and the beauty of old men *is* the gray head.

30 The blueness of a wound cleanseth away evil: so *do* stripes the inward parts of the belly.

## CHAPTER XXI.

**T**HE king's heart *is* in the hand of the LORD, *as* the rivers of water: he turneth it withersoever he will.

2 Every way of a man *is* right in his own eyes: but the LORD pondereth the hearts.

3 To do justice and judgment *is* more acceptable to the LORD than sacrifice.

4 A high look, and a proud heart, *and* the ploughing of the wicked, *is* sin.

5 The thoughts of the diligent *tend* only to plenteousness; but of every one *that is* hasty only to want.

6 The getting of treasures by a lying tongue *is* a vanity tossed to and fro of them that seek death.

7 The robbery of the wicked shall destroy them; because they refuse to do judgment.

8 The way of man *is* froward and strange: but *as for* the pure, his work *is* right.

9 *It is* better to dwell in a corner of the housetop, than with a brawling woman in a wide house.

10 The soul of the wicked desireth evil: his neighbour findeth no favour in his eyes.

11 When the scorner is punished, the simple is made wise: and when the wise is instructed, he receiveth knowledge.

12 The righteous *man* wisely considereth the house of the wicked: *but God* overthroweth the wicked for *their* wickedness.

13 Whoso stoppeth his ears at the cry of the poor, he also shall cry himself, but shall not be heard.

14 A gift in secret pacifieth anger: and a reward in the bosom, strong wrath.

15 *It is* joy to the just to do judgment: but destruction *shall be* to the workers of iniquity.

16 The man that wandereth out of the way of understanding shall remain in the congregation of the dead.

17 He that loveth pleasure *shall be* a poor man: he that loveth wine and oil shall not be rich.

18 The wicked *shall be* a ransom for the righteous, and the transgressor for the upright.

19 *It is* better to dwell in the wilderness, than with a contentious and an angry woman.

20 *There is* treasure to be desired and oil in the dwelling of the wise; but a foolish man spendeth it up.

21 He that followeth after righteousness and mercy findeth life, righteousness, and honour.

22 A wise *man* scaleth the city of the mighty, and casteth down the strength of the confidence thereof.

23 Whoso keepeth his mouth and his tongue, keepeth his soul from troubles.

24 Proud *and* haughty scorner *is* his name, who dealeth in proud wrath.

25 The desire of the slothful killeth him; for his hands refuse to labour.

26 He coveteth greedily all the day long: but the righteous giveth and spareth not.

27 The sacrifice of the wicked *is* abomination: how much more, *when* he bringeth it with a wicked mind?

28 A false witness shall perish: but the man that heareth speaketh constantly.

29 A wicked man hardeneth his face: but *as for* the upright, he directeth his way.

30 *There is* no wisdom nor understanding nor counsel against the LORD.

31 The horse *is* prepared against the day of battle: but safety *is* of the LORD.

## CHAPTER XXII.

**A** *GOOD* name *is* rather to be chosen than great riches, *and* loving favour rather than silver and gold.

2 The rich and poor meet together: the LORD *is* the maker of them all.

3 A prudent *man* foreseeth the evil, and hideth himself: but the simple pass on, and are punished.

4 By humility *and* the fear of the LORD *are* riches, and honour, and life.

5 Thorns *and* snares *are* in the way of the froward: he that doth keep his soul shall be far from them.

6 Train up a child in the way he should go: and when he is old, he will not depart from it.

7 The rich ruleth over the poor, and the borrower *is* servant to the lender.

8 He that soweth iniquity shall reap vanity: and the rod of his anger shall fail.

9 He that hath a bountiful eye shall be blessed: for he giveth of his bread to the poor.

10 Cast out the scorner, and contention shall go out; yea, strife and reproach shall cease.

11 He that loveth pureness of heart, *for* the grace of his lips the king *shall be* his friend.

12 The eyes of the LORD preserve knowledge; and he overthroweth the words of the transgressor.

13 The slothful *man* saith, *There is* a lion without, I shall be slain in the streets.

14 The mouth of strange woman *is* a deep pit: he that is abhorred of the LORD shall fall therein.

15 Foolishness *is* bound in the heart of a child; *but* the rod of correction shall drive it far from him.

16 He that oppresseth the poor to increase his *riches*, *and* he that giveth to the rich, *shall* surely *come* to want.

17 Bow down thine ear, and hear the words of the wise, and apply thine heart unto my knowledge.

18 For *it is* a pleasant thing if thou keep them within thee; they shall withal be fitted in thy lips.

19 That thy trust may be in the LORD, I

have made known to thee this day, even to thee.

20 Have not I written to thee excellent things in counsels and knowledge.

21 That I might make thee know the certainty of the words of truth; that thou mightest answer the words of truth to them that send unto thee?

22 Rob not the poor, because he *is* poor: neither oppress the afflicted in the gate:

23 For the LORD will plead their cause, and spoil the soul of those that spoiled them.

24 Make no friendship with an angry man; and with a furious man thou shalt not go;

25 Lest thou learn his ways, and get a snare to the soul.

26 Be not thou *one* of them that strike hands, *or* of them that are sureties for debts.

27 If thou hast nothing to pay, why should he take away thy bed from under thee?

28 Remove not the ancient landmark, which thy fathers have set.

29 Seest thou a man diligent in his business? he shall stand before kings; he shall not stand before mean *men*.

## CHAPTER XXIII.

WHEN thou sittest to eat with a ruler, consider diligently what *is* before thee:

2 And put a knife to thy throat, if thou *be* a man given to appetite.

3 Be not desirous of his dainties: for they *are* deceitful meat.

4 Labour not to be rich: cease from thine own wisdom.

5 Wilt thou set thine eyes upon that which is not? for *riches* certainly make themselves wings; they fly away as an eagle toward heaven.

6 Eat thou not the bread of *him that hath* an evil eye, neither desire thou his dainty meats:

7 For as he thinketh in his heart, so *is* he: Eat and drink, saith he to thee: but his heart *is* not with thee.

8 The morsel *which* thou hast eaten shalt thou vomit up, and lose thy sweet words.

9 Speak not in the ears of a fool: for he will despise the wisdom of thy words.

10 Remove not the old landmark; and enter not into the fields of the fatherless:

11 For their Redeemer *is* mighty; he shall plead their cause with thee.

12 Apply thine heart unto instruction, and thine ears to the words of knowledge.

13 Withhold not correction from the child: for *if* thou beatest him with the rod, he shall not die.

14 Thou shalt beat him with the rod, and shalt deliver his soul from hell.

15 My son, if thine heart be wise, my heart shall rejoice, even mine.

16 Yea, my reins shall rejoice, when thy lips speak light things.

17 Let not thine heart envy sinners: but *be thou* in the fear of the LORD all the day long.

18 For surely there is an end, and thine expectation shall not be cut off.

19 Hear thou, my son, and be wise, and guide thine heart in the way.

20 Be not among winebibbers; among riotous eaters of flesh:

21 For the drunkard and the glutton shall come to poverty: and drowsiness shall clothe *a man* with rags.

22 Hearken unto thy father that begat thee, and despise not thy mother when she is old.

23 Buy the truth, and sell *it* not; *also* wisdom, and instruction, and understanding.

24 The father of the righteous shall greatly rejoice: and he that begetteth a wise *child* shall have joy of him.

25 Thy father and thy mother shall be glad, and she that bare thee shall rejoice.

26 My son, give me thine heart, and let thine eyes observe my ways.

27 For a whore *is* a deep ditch; and a strange woman *is* a narrow pit.

28 She also lieth in wait as *for* a prey, and increaseth the transgressors among men.

29 Who hath woe? who hath sorrow? who hath contentions? who hath babbling? who hath wounds without cause? who hath redness of eyes?

30 They that tarry long at the wine; they that go to seek mixed wine.

31 Look not thou upon the wine when it is red, when it giveth his colour in the cup, *when* it moveth itself aright.

32 At the last it biteth like a serpent, and stingeth like an adder.

33 Thine eyes shall behold strange women, and thine heart shall utter perverse things.

34 Yea, thou shalt be as he that lieth down in the midst of the sea, or as he that lieth upon the top of a mast.

35 They have stricken me, *shalt thou say*, *and* I was not sick; they have beaten me, *and* I felt *it* not: when shall I awake? I will seek it yet again.



## CHAPTER XXIV.

**B**E not thou envious against evil men,  
neither desire to be with them:

2 For their heart studieth destruction,  
and their lips talk of mischief.

3 Through wisdom is a house builded;  
and by understanding it is established:

4 And by knowledget shall the chambers  
be filled with all precious and pleasant riches.

5 A wise man *is* strong; yea, a man of  
knowledge increaseth strength.

6 For by wise counsel thou shalt make  
thy war: and in multitude of counsellors *there*  
*is* safety.

7 Wisdom *is* too high for a fool: he  
openeth not his mouth in the gate.

8 He that deviseth to do evil shall be  
called a mischievous person.

9 The thought of foolishness *is* sin: and  
the scorner *is* an abomination to men.

10 *If* thou faint in the day of adversity,  
thy strength *is* small.

11 If thou forbear to deliver *them that are*  
drawn unto death, and *those that are* ready  
to be slain;

12 If thou sayest, Behold, we knew it  
not; doth not he that pondereth the heart

consider *it?* and he that keepeth thy soul,  
doth *not* he know *it?* and shall *not* he render  
to *every* man according to his works?

13 My son, eat thou honey, because *it is*  
good; and the honeycomb, *which is* sweet to  
thy taste:

14 So *shall* the knowledge of wisdom *be*  
unto thy soul: when thou hast found *it*, then  
there shall be a reward, and thy expectation  
shall not be cut off.

15 Lay not wait, O wicked *man*, against  
the dwelling of the righteous; spoil not his  
resting place:

16 For a just *man* falleth seven times,  
and riseth up again: but the wicked shall fall  
into mischief.

17 Rejoice not when thine enemy falleth,  
and let not thine heart be glad when he  
stumbleth:

18 Lest the LORD see *it*, and it displease  
him, and he turn away his wrath from him.

19 Fret not thyself because of evil *men*,  
neither be thou envious at the wicked;

20 For there shall be no reward to the  
evil *man*; the candle of the wicked shall  
be put out.

21 My son, fear thou the LORD and the  
king: *and* meddle not with them that are  
given to change:

22 For their calamity shall rise suddenly;

and who knoweth the ruin of them both?

23 These *things* also *belong* to the wise. *It is* not good to have respect of persons in judgment.

24 He that saith unto the wicked, Thou *art* righteous; him shall the people curse, nations shall abhor him:

25 But to them that rebuke *him* shall be delight, and a good blessing shall come upon them.

26 *Every man* shall kiss *his* lips that giveth a right answer.

27 Prepare thy work without, and make it fit for thyself in the field; and afterwards build thine house.

28 Be not a witness against thy neighbour without cause; and deceive *not* with thy lips.

29 Say not, I will do so to him as he hath done to me: I will render to the man according to his work.

30 I went by the field of the slothful, and by the vineyard of the man void of understanding;

31 And, lo, it was all grown over with thorns, *and* nettles had covered the face thereof, and the stone wall thereof was broken down.

32 Then I saw, *and* considered *it* well: I looked upon *it*, *and* received instruction.

33 *Yet* a little sleep, a little slumber, a little folding of the hands to sleep:

34 So shall thy poverty come *as* one that travelleth; and thy want as an armed man.

## CHAPTER XXV.

<sup>1</sup> *Observations about kings, 8 and about avoiding: causes of quarrels, and sundry causes thereof.*

**T**HESE *are* also proverbs of Solomon, which the men of Hezekiah king of Judah copied out.

2 *It is* the glory of God to conceal a thing: but the honour of kings *is* to search out a matter.

3 The heaven for height, and the earth for depth, and the heart of kings *is* unsearchable.

4 Take away the dross from the silver, and there shall come forth a vessel for the finer.

5 Take away the wicked *from* before the king, and his throne shall be established in righteousness.

6 Put not forth thyself in the presence of the king, and stand not in the place of great men:

7 For better *it is* that it be said unto thee, Come up hither; than that thou shouldst be put lower in the presence of the prince whom thine eyes have seen.

8 Go not forth hastily to strive, lest *thou know not* what to do in the end thereof, when thy neighbour hath put thee to shame.

9 Debate thy cause with thy neighbour *himself*; and discover not a secret to another:

10 Lest he that heareth *it* put thee to shame, and thine infamy turn not away.

11 A word fitly spoken *is like* apples of gold in pictures of silver.

12 *As* an earring of gold, and an ornament of fine gold, *so is* a wise reprove upon an obedient ear.

13 *As* the cold of snow in the time of harvest, *so is* a faithful messenger to them that send him: for he refresheth the soul of his masters.

14 Whoso boasteth himself of a false gift *is like* clouds and wind without rain.

15 By long forbearing is a prince persuaded, and a soft tongue breaketh the bone.

16 Hast thou found honey? eat so much as is sufficient for thee, lest thou be filled therewith, and vomit it.

17 Withdraw thy foot from thy neighbour's house; lest he be weary of thee, and *so* hate thee.

18 A man that beareth false witness against his neighbour *is* a maul, and a sword, and a sharp arrow.

19 Confidence in an unfaithful man in time

of trouble *is like* a broken tooth, and a foot out of joint.

20 *As* he that taketh away a garment in cold weather, *and as* vinegar upon nitre, *so is* he that singeth songs to a heavy heart.

21 If thine enemy be hungry, give him bread to eat; and if he be thirsty, give him water to drink:

22 For thou shalt heap coals of fire upon his head, and the LORD shall reward thee.

23 The north wind driveth away rain: *so doth* an angry countenance a backbiting tongue.

24 *It is* better to dwell in the corner of the housetop, than with a brawling woman and in a wide house.

25 *As* cold waters to a thirsty soul, *so is* good news from a far country.

26 A righteous man falling down before the wicked *is as* a troubled fountain, and a corrupt spring.

27 *It is* not good to eat much honey: *so for men* to search their own glory *is not* glory.

28 He that *hath* no rule over his own spirit *is like* a city *that is* broken down, *and* without walls.

## CHAPTER XXVI.

1 *Observations about fools, 13 about sluggards, 17 and about contention busybodies.*

AS snow in summer, and as rain in harvest, so honour is not seemly for a fool.

2 As the bird by wandering, as the swallow by flying, so the curse causeless shall not come.

3 A whip for the horse, a bridle for the ass, and a rod for the fool's back.

4 Answer not a fool according to his folly, lest thou also be like unto him.

5 Answer a fool according to his folly, lest he be wise in his own conceit.

6 He that sendeth a message by the hand of a fool cutteth off the feet, *and* drinketh damage.

7 The legs of the lame are not equal: so *is* a parable in the mouth of fools.

8 As he that bindeth a stone in a sling, so *is* he that giveth honour to a fool.

9 *As* a thorn goeth up into the hand of a drunkard, so *is* a parable in the mouth of fools,

10 The great *God* that formed all *things* both rewardeth the fool, and rewardeth transgressors.

11 As a dog returneth to his vomit, so a fool returneth to his folly.

12 Seest thou a man wise in his own conceit? *there is* more hope of a fool than of him.

13 The slothful *man* saith, *There is* a lion in the way; a lion *is* in the streets.

14 *As* the door turneth upon his hinges, so *doth* the slothful upon his bed.

15 The slothful hideth his hand in *his* bosom; it grieveth him to bring it again to his mouth.

16 The sluggard *is* wiser in his own conceit than seven men that can render a reason.

17 He that passeth by, *and* meddleth with strife *belonging* not to him, *is like* one that taketh a dog by the ears.

18 As a mad *man* who casteth firebrands, arrows, and death.

19 So *is* the man *that* deceiveth his neighbour, and saith, Am not I in sport?

20 Where no wood is, *there* the fire goeth out: so where *there is* no talebearer, the strife ceaseth.

21 *As* coals *are* to burning coals, and wood to fire; so *is* a contentious man to kindle strife.

22 The words of a talebearer *are* as wounds, and they go down into the innermost parts of the belly.

23 Burning lips and a wicked heart *are like* a potsherd covered with silver dross.

24 He that hateth dissembleth with his lips, and layeth up deceit within him;

25 When he speaketh fair, believe him not: for *there are* seven abominations in his heart.

26 *Whose* hatred is covered by deceit, his wickedness shall be shewed before the *whole* congregation.

27 Whoso diggeth a pit shall fall therein: and he that rolleth a stone, it will return upon him.

28 A lying tongue hateth *those that are* afflicted by it; and a flattering mouth worketh ruin.

## CHAPTER XXVII.

1 *Observations of selflove, 5 of true love, 11 of care to avoid offences, 23 and of the household care.*

**B**OAST not thyself of to morrow; for thou knowest not what a day may bring forth.

2 Let another man praise thee, and not thine own mouth; a stranger, and not thine own lips.

3 A stone *is* heavy, and the sand weighty; but a fool's wrath *is* heavier than them both.

4 Wrath *is* cruel, and anger *is* outrageous; but who *is* able to stand before envy?

5 Open rebuke *is* better than secret love.

6 Faithful *are* the wounds of a friend; but the kisses of an enemy *are* deceitful.

7 The full soul loatheth a honeycomb; but to the hungry soul every bitter thing is sweet.

8 As a bird that wandereth from her nest, so *is* a man that wandereth from his place.

9 Ointment and perfume rejoice the heart: so *doth* the sweetness of a man's friend by hearty counsel.

10 Thine own friend, and thy father's friend, forsake not; neither go into thy brother's house in the day of thy calamity: *for* better *is* a neighbour *that is* near than a brother far off.

11 My son, be wise, and make my heart glad, that I may answer him that reproacheth me.

12 A prudent *man* foreseeth the evil, *and* hideth himself; *but* the simple pass on, *and* are punished.

13 Take his garment that is surety for a stranger, and take a pledge of him for a strange woman.

14 He that blesseth his friend with a loud voice, rising early in the morning, it shall be counted a curse to him.

15 A continual dropping in a very rainy day and a contentious woman are alike.

16 Whosoever hideth her hideth the wind,

and the ointment of his right hand, *which* bewrayeth *itself*

17 Iron sharpeneth iron; so a man sharpeneth the countenance of his friend.

18 Whoso keepeth the fig tree shall eat the fruit thereof: so he that waiteth on his master shall be honoured.

19 As in water face *answereth* to face, so the heart of man to man.

20 Hell and destruction are never full; so the eyes of man are never satisfied.

21 *As* the fining pot for silver, and the furnace for gold; so *is* a man to his praise.

22 Though thou shouldest bray a fool in a mortar among wheat with a pestle, *yet* will not his foolishness depart from him.

23 Be thou diligent to know the state of thy flocks, *and* look well to thy herds:

24 For riches *are* not for ever: and doth the crown *endure* to every generation?

25 The hay appeareth, the tender grass sheweth itself, and herbs of the mountains are gathered.

26 The lambs *are* for thy clothing, and the goats *are* the price of the field.

27 *And thou shalt have* goats' milk enough for thy food, for the food of thy household, and *or* the maintenance for thy maidens,

## CHAPTER XXVIII.

*General observations of impiety and religious integrity.*

**T**HE wicked flee when no man pursueth: but the righteous are bold as a lion.

2 For the transgression of a land many *are* the princes thereof: but by a man of understanding *and* knowledge the state *thereof* shall be prolonged.

3 A poor man that oppresseth the poor *is like* a sweeping rain which leaveth no food.

4 They that forsake the law praise the wicked: but such as keep the law contend with them.

5 Evil men understand not judgment: but they that seek the LORD understand all *things*.

6 Better *is* the poor that walketh in his uprightness, than *he that is* perverse in his ways, though he *be* rich.

7 Whoso keepeth the law *is* a wise son: but he that is a companion of riotous *men* shameth his father.

8 He that by usury and unjust gain increaseth his substance, he shall gather it for him that will pity the poor.

9 He that turneth away his ear from hearing the law, even his prayer *shall be* abomination.

10 Whoso causeth the righteous to go astray in an evil way, he shall fall himself into his own pit: but the upright shall have good *things* in possession.

11 The rich man *is* wise in his own conceit; but the poor that hath understanding searcheth him out.

12 When righteous *men* do rejoice, *there is* great glory: but when the wicked rise, a man is hidden.

13 He that covereth his sins shall not prosper: but whoso confesseth and forsaketh *them* shall have mercy.

14 Happy *is* the man that feareth always: but he that hardeneth his heart shall fall into mischief.

15 *As* a roaring lion, and a ranging bear; *so is* a wicked ruler over the poor people.

16 The prince that wanteth understanding *is* also a great oppressor: *but* he that hateth covetousness shall prolong *his* days.

17 A man that doeth violence to the blood of *any* person shall flee to the pit; let no man stay him.

18 Whoso walketh uprightly shall be saved: but *he that is* perverse in *his* ways shall fall at once.

19 He that tilleth his land shall have plenty of bread: but he that followeth after vain *persons* shall have poverty enough.

20 A faithful man shall abound with blessing: but he that maketh haste to be rich shall not be innocent.

21 To have respect of persons *is* not good: for, for a piece of bread *that* man will transgress.

22 He that hasteth to be rich *hath* an evil eye, and considereth not that poverty shall come upon him.

23 He that rebuketh a man, afterwards shall find more favour than he that flattereth with the tongue.

24 Whoso robbeth his father or his mother, and saith, *It is* no transgression; the same *is* the companion of a destroyer.

25 He that is of a proud heart stirreth up strife: but he that putteth his trust in the LORD shall be made fat.

26 He that trusteth in his own heart is a fool: but whoso walketh wisely, he shall be delivered.

27 He that giveth unto the poor shall not lack: but he that hideth his eyes shall have many a curse.

28 When the wicked rise, men hide themselves: but when they perish, the righteous increase.

## CHAPTER XXIX.

1 *Observations of public government, 15 and of private. 22 Of anger, pride, thievery, cowardice, and corruption.*

**H**E, that being often reprov'd hardeneth *his* neck, shall suddenly be destroyed, and that without remedy.

2 When the righteous are in authority, the people rejoice; but when the wicked beareth rule, the people mourn.

3 Whoso loveth wisdom rejoiceth his father: but he that keepeth company with harlots spendeth *his* substance.

4 The king by judgment establisheth the land: but he that receiveth gifts overthroweth it.

5 A man that flattereth his neighbour spreadeth a net for his feet.

6 In the transgression of an evil man *there* is a snare: but the righteous doth sing and rejoice.

7 The righteous considereth the cause of the poor: *but* the wicked regardeth not to know *it*.

8 Scornful men bring a city into a snare: but wise *men* turn away wrath.

9 *If* a wise man contendeth with a foolish man, whether he rage or laugh, *there* is no rest.

10 The bloodthirsty hate the upright: but the just seek his soul.

11 A fool uttereth all his mind: but a wise *man* keepeth it in till afterwards.

12 If a ruler hearken to lies, all his servants *are* wicked.

13 The poor and the deceitful man meet together: the LORD lighteneth both their eyes.

14 The king that faithfully judgeth the poor, his throne shall be established for ever.

15 The rod and reproof give wisdom: but a child left *to himself* bringeth his mother to shame.

16 When the wicked are multiplied, transgression increaseth: but the righteous shall see their fall.

17 Correct thy son, and he shall give thee rest; yea, he shall give delight unto thy soul.

18 Where *there* is no vision, the people perish: but he that keepeth the law, happy *is* he.

19 A servant will not be corrected by words: for though he understand he will not answer.

20 Seest thou a man *that is* hasty in his words? *there is* more hope of a fool than of him.

21 He that delicately bringeth up his servant from a child shall have him become *his* son at the length.



22 An angry man stirreth up strife, and a furious man aboundeth in transgression.

23 A man's pride shall bring him low: but honour shall uphold the humble in spirit.

24 Whoso is partner with a thief hateth his own soul: he heareth cursing, and bewrayeth *it* not.

25 The fear of man bringeth a snare: but whoso putteth his trust in the LORD shall be safe.

26 Many seek the ruler's favour; but *every* man's judgment *cometh* from the LORD.

27 An unjust man *is* an abomination to the just: and *he that is* upright in the way *is* abomination to the wicked.

### CHAPTER XXX.

1 *Agur's confession of his faith.* 7 *The two points of his prayer.* 10 *The meanest are not to be wronged.* 11 *Four wicked generations.* 15 *Four things insatiable.* 17 *Parents are not to be despised.* 18 *Four things hard to be known.* 21 *Four things intorelable.* 24 *Four things exceeding wise.* 29 *Four things stately.* 32 *Wrath is to be prevented.*

**T**HE words of Agur the son of Jakeh, *even* the prophecy: the man spake unto Ithiel, even unto Ithiel and Ucal,

2 Surely I *am* more brutish than *any* man, and have not the understanding of a man.

3 I neither learned wisdom, nor have the knowledge of the holy.

4 Who hath ascended up into heaven, or descended? who hath gathered the wind in his fists? who hath bound the waters in a garment? who hath established all the ends of the earth? what *is* his name, and what *is* his son's name, if thou canst tell?

5 Every word of God *is* pure: he *is* a shield unto them that put their trust in him.

6 Add thou not unto his words, lest he reprove thee, and thou be found a liar.

7 Two *things* have I required of thee; deny me *them* not before I die:

8 Remove far from me vanity and lies; give me neither poverty nor riches; feed me with food convenient for me:

9 Lest I be full, and deny *thee*, and say, Who *is* the LORD? or lest I be poor, and steal, and take the name of my God *in vain*.

10 Accuse not a servant unto his master, lest he curse thee, and thou be found guilty.

11 *There is* a generation *that* curseth their father, and doth not bless their mother.

12 *There is* a generation *that are* pure in their own eyes, and *yet* is not washed from their filthiness.

13 *There is* a generation, O how lofty are their eyes! and their eyelids are lifted up.

14 *There is* a generation, whose teeth *are*

as swords, and their jaw teeth *as* knives, to devour the poor from off the earth, and the needy from *among* men.

15 The horseleech hath two daughters, *crying*, Give, give. There are three *things that* are never satisfied, *yea*, four *things* say not, *It is* enough:

16 The grave; and the barren womb; the earth *that* is not filled with water; and the fire *that* saith not, *It is* enough.

17 The eye *that* mocketh at *his* father, and despiseth to obey *his* mother, the ravens of the valley shall pick it out, and the young eagles shall eat it.

18 There be three *things which* are two wonderful for me, *yea*, four which I know not:

19 The way of an eagle in the air; the way of a serpent upon a rock; the way of a ship in the midst of the sea; and the way of a man with a maid.

20 Such *is* the way of an adulterous woman; she eateth, and wipeth her mouth, and saith, I have done no wickedness,

21 For three *things* the earth is disquieted, and for four *which* it cannot bear:

22 For a servant when he reigneth; and a fool when he is filled with meat;

23 For an odious *woman* when she is married; and a handmaid that is heir to her mistress.

24 There be four *things which* are little upon the earth, but they *are* exceeding wise:

25 The ants *are* a people not strong, yet they prepare their meat in the summer;

26 The conies *are but* a feeble folk, yet make they their houses in the rocks;

27 The locusts have no king, yet go they forth all of them by bands;

28 The spider taketh hold with her hands, and is in kings' palaces.

29 There be three *things* which go well, *yea*, four are comely in going:

30 A lion, *which is* strongest among beasts, and turneth not away for any;

31 A greyhound; a he goat also; and a king, against whom *there is* no rising up.

32 If thou hast done foolishly in lifting up thyself, or if thou hast thought evil, *lay* thine hand upon thy mouth.

33 Surely the churning of milk bringeth forth butter, and the wringing of the nose bringeth forth blood: so the forcing of wrath bringeth forth strife.

## CHAPTER XXXI.

1 *Lemuel's lesson of chastity and temperance.* 6 *The afflicted are to be comforted and defended.* 10 *The praise and properties of a good wife.*

THE words of king Lemuel, the prophecy that his mother taught him.

2 What, my son? and what, the son of my womb? and what, the son of my vows?

3 Give not thy strength unto women, nor thy ways to that which destroyeth kings.

4 *It is* not for kings, O Lemuel, *it is* not for kings to drink wine; nor for princes strong drink:

5 Lest they drink, and forget the law, and pervert the judgment of any of the afflicted.

6 Give strong drink unto him that is ready to perish, and wine unto those that be of heavy hearts.

7 Let him drink, and forget his poverty, and remember his misery no more.

8 Open thy mouth for the dumb in, the cause of all such as are appointed to destruction.

9 Open thy mouth, judge righteously, and plead the cause of the poor and needy.

10 ¶ Who can find a virtuous woman? for her price is far above rubies.

11 The heart of her husband doth safely

trust in her, so that he shall have no need of spoil.

12 She will do him good and not evil all the days of her life.

13 She seeketh wool, and flax, and worketh willingly with her hands.

14 She is like the merchants' ships; she bringeth her food from afar.

15 She riseth also while it is yet night, and giveth meat to her household, and a portion to her maidens.

16 She considereth a field, and buyeth it: with the fruit of her hands she planteth a vineyard.

17 She girdeth her loins with strength, and strengtheneth her arms.

18 She perceiveth that her merchandise is good: her candle goeth not out by night.

19 She layeth her hands to the spindle, and her hands hold the distaff.

20 She stretcheth out her hand to the poor; yea, she reacheth forth her hands to the needy.

21 She is not afraid of the snow for her household: for all her household are clothed with scarlet.

22 She maketh herself coverings of tapestry; her clothing is silk and purple.

23 Her husband is known in the gates, when he sitteth among the elders of the land.

24 She maketh fine linen; and selleth it;

and delivereth girdles unto the merchant.

25 Strength and honour *are* her clothing;  
and she shall rejoice in time to come.

26 She openeth her mouth with wisdom;  
and in her tongue *is* the law of kindness.

27 She looketh well to the ways of her  
household, and eateth not the bread of idleness.

28 Her children arise up, and call her  
blessed: her husband *also*, and he praiseth  
her.

29 Many daughters have done virtuously,  
but thou excellest them all.

30 Favour *is* deceitful, and beauty *is* vain;  
*but* a woman *that* feareth the LORD, she  
shall be praised.

31 Give her of the fruit of her hands;  
and let her own works praise her in the  
gates.

---



活精神	活學談	虛心談	精神と力量	斬奸狀	急務激言	東洋社會黨	最近國家社會主義	社會研究新論	近世社會主義評論
定價三十錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價六十錢 郵稅六錢	定價六十錢 郵稅六錢	定價十六錢 郵稅四錢	定價十六錢 郵稅四錢
活禪錄	禪學斷片	聖僧道元	日佛教拾二傑傳論	馬琴妙文集	滑稽妙文集	戲曲妙文集	吞氣文集	高等艶麗文集	立身的事蹟
定價五十錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅六錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢

研學の順序	青年の將來	作文の指南	山水記事論說文	社交記事論說文	高等記事論說文	偉人の膽力	偉人の生長時代	頓才の詩人	閨秀の佳人
定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價六錢 郵稅六錢	定價六錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價廿二錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢
婦人實務錄	女子講本	活戀	戀と死	墳墓の地	失策の半生涯	成功到著	處世四十八手 非錄	天籟萬丈	小文學
定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅六錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅六錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價十二錢 郵稅二錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢

小氣焔	定價四卅錢	小哲學	定價廿五錢	珍鳴長明海道記	定價十五錢	國史回國雜記	定價二十錢	理想の大匠	近刊	禪學の奧義	定價五十錢	哲學要領	定價六十錢	加賀の千代	定價四十錢	成效者の苦學	定價二十錢	軍隊の側面	定價四十錢
理想の政黨	定價三十錢	高等家庭讀本	定價四錢	戀愛の精神	定價三十錢	人情の後見	定價三十錢	無能の天下	定價廿五錢	社會學講義	定價五十錢	社會學と哲學	定價六十錢	吾家の憲法	定價廿五錢	人生の審美	定價廿五錢	文學の審美	定價廿五錢

自然界的審美	定價廿五錢	婦人の情力	定價三十錢	戀愛の文豪	定價三十錢	弱者の臨終	定價三十錢	英雄の片影	定價二十錢	心識活談	定價二十錢	詩經新體詩選	定價二十錢	改選新體詩	定價二十錢	詩の神	定價二十錢	學生の苦心	定價二十錢
老子講義新釋	定價廿四錢	心學養性篇	定價廿五錢	心學道體篇	定價廿五錢	心學人間篇	定價廿五錢	心學道義篇	定價廿五錢	心學迷悟篇	定價廿五錢	心學性理篇	定價廿五錢	心學明德篇	定價廿五錢	心學靈性篇	定價廿五錢	俳流の女神	定價廿四錢

94
18



